

砲兵工廠生徒學舎入學志願人名

隊號(所管)

何卒姓名

年號月日生
年號月何年何ヶ月

全

全

合何人

右當臺(局)卒生徒入學志願ニ付名簿寫相添差出候間御檢
查ノ上入學御差許有之度候也 東京外ニ在テハ名簿寫ノ下ニ「檢査書類」
ノ四字ヲ加ヘ「御檢査」上ノ「五字」ヲ省ク
(所管長官)

布達類聚

百五十七

年號月日

職官姓名印

東京砲兵工廠提理

職官姓名殿

第二條 華士族平民ヨリ入學志願ノ者ハ左式ノ願書ニ
履歷書ヲ添本籍若クハ寄留地府縣廳ノ奥書證印ヲ受
ケ直ニ東京砲兵工廠ニ差出ス可シ

願書式

料紙美濃白紙以下履歷
書入學證書之ニ同シ

砲兵工廠生徒學舎入學願

某儀

陸軍出身志願ニ付今般砲兵工廠生徒學舎入學奉願候間

御検査ノ上御採用被下度別紙履歷書相添此段奉願候也

府(縣)何族(平民)職業

戸主名何男(兄)(弟)(伯)(叔)(甥)(附籍)

國郡(區)町(村)産
國郡(區)町(村)番地住(寄留) 姓名印

年號月日生
年號月何年何ヶ月

身元引請人

府(縣)何族(平民)

國郡(區)町(村)番地住(寄留)

姓名印

年號月日

東京砲兵工廠提理官姓名殿

布達類聚

百五十八

前書之趣調査候處相違無之候也

府(縣)郡(區)町(村)戸長
戸長アラザル地ハ區長

年號月日 姓名印

前書ノ通相違無之候也

年號月日 府(縣)知事(令) 姓名印

履歷書式
書式ニ示ス外履歷ニ係ルモノ
アルトキハ悉ク記載スヘシ

履歷書

府(縣)何族(平民)職業

戸主名何男(兄)(弟)(伯)(叔)(甥)(附籍)

何年何月種痘(天然痘)

姓名

年號月日生
年號月何年何ヶ月

一何年月日任何官(補何等出仕)(免本官)(出仕被免)(官(省)(府)(縣)等)

一何年月日何職被申付(何職被免)(官(省)(院)(廳)(府)(縣)等)

一何年月日ヨリ何年月日迄何學校(塾)入學何科卒業(何學修業)

一何年月日何ニ依リ賞典何々下賜

一何年月日何ニ依リ何罰申付ヲル

右ノ通相違無之候也

布達類聚

百五十九

年號月日

本人姓名印

右身元引請人

姓名印

第三條 諸卒及ヒ華士族平民共検査ノ項目左ノ如シ

第一則 年齢 自十八年至二十五年

第二則 身長 五尺以上

第三則 體質 強壯就中銃木鍛工ハ膂最力強キ者

第四則 讀書

第五則 作文

第六則 算術

第四條 前條検査ノ項目ニ合スル者ト雖モ尙ホ二週間
實試ノ上之ヲ採用ス

第五條 東京砲兵工廠提理ハ検査書類ニ就キ優等ノ者
ヨリ順次ニ定員ヲ選抜シ其入學ヲ許ス可キ者ノ姓名
及ヒ附屬隊號又ハ族籍ヲ記載シ陸軍卿ニ申請シ許可
ヲ得テ所管若クハ管轄廳へ照會シテ入學セシム

第六條 入學ヲ命スル者華士族平民ニ在テハ父兄親族
其他一家ヲ成ス身元慥ナル者二名ヲ身元引請人ト爲
シ左式ノ入學證書ヲ差出サシム但身元引請人中一名
ハ必ス在東京ノ者タル可シ但引請人事故アリテ其引

布達類聚

百六十

請ヲ辭スルトキハ必ス代人ヲ選ニ府縣廳ノ與書證印
ヲ以テ届出可シ

證書式 證券印紙
ヲ貼用ス

砲兵工廠生徒學舍入學證書

某儀

陸軍出身志願ニ付今般砲兵工廠生徒學舍入學御許可相
成候付テハ御規則嚴重ニ相守誓テ陸軍ニ從事可仕万一
學術不勉強又ハ品行不正等ヨリ兵卒ニ命セラレ候共決
シテ違背不仕御定則ノ服役年限ヲ相終リ可申且又本人
身上ノ儀ハ何事ニ依ラス身元引請人ニ於テ引請可仕依

テ引請人連署證書如此候也

府(縣)何族(平民)職業

戸主名何男(兄)(弟)(伯)(叔)(甥)(附籍)

國郡(區)町(村)産
國郡(區)町(村)番地住(寄留)

姓名印

年號月日生
年號月何年何ヶ月

身元引請人

府(縣)何族(平民)

國郡(區)町(村)番地住(寄留)

姓名印

全

布達類聚

百六十一

東京府下郡(區)町(村)番地住(寄留)

年號月日

姓名印

東京砲兵工廠提理官姓名殿

前書之趣調査候處相違無之候也

府(縣)郡(區)町(村)戸長
戸長アラザル地ハ
區長

年號月日

姓名印

前書ノ通相違無之候也

年號月日

府(縣)知事(令) 姓名印

第七條 諸卒ヨリ入學セシムル者ハ該隊(所管)ニ於テ左
表ニ示ス物品ヲ給與シ其表面ヲ製シ該隊長(所管長官)

之ニ檢印シ本人ニ附與シテ入學セシムヘシ
携帶品目表

冬何具	夏何具	冬何具	夏何具	何個 日覆共	何足	何枚	一冊	何	某
零衣	零袴	零帽	靴	外套	手套	帖	姓	名	

近衛(銃臺)步(騎)(砲)(工)(輜重)兵第何聯(大)(中)(小)隊給養掛(官)主任(官)姓名印

第八條 生徒入學ノ時ハ第一章第四條ノ趣旨ニ基キ左
ノ如ク誓文帖ニ署名捺印シ其志操ノ確實ヲ證セシム

布達類聚

百六十二

誓文帖

陸軍出身志願ニ付今般砲兵工廠生徒學舎入學奉願候處
御許容相成候ニ就テハ御規則嚴重ニ相守誓テ陸軍ニ從
事可仕且入學中ハ家事故障ハ勿論假令病氣ト雖トモ自
カラ免役ヲ請願致シ候等ノ儀ハ決シテ不仕候依テ誓文
如件

年號月日

姓名印

同 同

砲兵工廠生徒學舍定員表

備考	大尉一	七等	八等	九等	十等	十一等	十二等	十三等	十四等	十五等	十六等	十七等	生徒	計
	副長 中小尉一					曹長一	火工火長 一二等軍曹二							
本表ノ定員ハ其最上數ヲ示ス者ニシテ必スモ此員ヲ全備スル者ニアラス故ニ十等以下十七等以上ノ者ハ生徒ノ人員ニ應ル或ハ其他ノ景況ニ依リ多少減員スルコトアルヘシ	長 副長 中小尉一	七等	八等	九等	十等	十一等	十二等	十三等	十四等	十五等	十六等	十七等	生徒	計
	監督 上等監督一 火工長						鞍 銃 木 工(下)長 鍛							
	算學教官													三
	圖書學教官													四

甲第二十四號

明治十八年三月二十八日

布達 願聚

百六十三

現役輜重輪卒ニテ入營セス郷里ニ在テ服役中ノ者讀法式並ニ手帖渡方手續別紙ノ通被定候條此旨心得ヘシ
右布達候事

現役輜重輪卒ニテ入營セス郷里ニ在テ服役スル者讀法式並ニ手帖附與ノ手續

一現役輜重輪卒ニテ入營セス郷里ニ在テ服役スル者ハ豫備役後備役輜重輪卒點呼ノ節之ヲ點呼場ニ呼出シ讀法式ヲ施行スヘシ

但點呼場ハ概テ一日間ニ往復ヲ爲シ得ヘキ里程内ノ地ニ設クルヲ以テ輪卒點呼場ノ往復旅費等ハ官

ヨリ之ヲ給セサルモノトス

一 讀法式ハ各自ヲ環列セシメ郡區駐在官其中央ニ在テ
讀法ヲ朗讀シ終テ各員ヲシテ手帖中ノ誓文ニ署名捺
印セシムヘシ

一 讀法式施行ノ後ハ各員ニ手帖ヲ附與シ直ニ解散飯家
セシムヘシ

一 前條ノ手帖ハ豫メ後備軍司令部ニ於テ徵兵事務條例
第六十九條第七項及ヒ第十二項名簿ニ據リ所要ノ事
項ヲ記入シ點呼季節ニ先テ府縣駐在官ヲ經テ郡區駐
在官ニ渡シ置クヘシ

布達類聚

百六十四

一 現今豫備役ニ在ル輜重諭卒ニテ曾テ入營セサルモノ
ハ本年點呼ノトキ之ヲ呼出讀法式ヲ行ヒ且手帖ヲ附
與スヘシ

甲第六十九號

明治十八年六月二十三日

本年ハ當縣甲第十八號布達砲兵工廠生徒學會規則第一
章第十條中「陸軍卿ノ許可ヲ得テ」ノ九字及三章第五條中
「陸軍卿ニ申請シ許可ヲ得テ」ノ十二字削除ス
右布達候事

甲第七十號

明治十八年六月廿三日

本年一當縣甲第六號布達憲兵卒概則第十七條中「陸軍卿

ニ上申シ許可ヲ得」ノ十一字刪除ス
右布達候事

甲第七十五號

明治十八年七月六日

明治十七年肚本縣甲第百十四號布達第一項左ノ通改正
ス

右布達候事

一現役輜重輪卒在郷中身上異動ヲ生スルトキハ本人又
ハ戸主ノ届書ニ戸長郡區長ノ奥書證印ヲ受ケ郡區駐
在官ニ届出ヘシ

但割符ノ訂正ヲ要スルハ徵兵事務條例第八十四

布達類聚

百六十五

條ニ依リ縣廳ヘ差出スヘシ

甲第九十六號

明治十八年十月五日

明治十七年^{十一月}當縣甲第百十四號及ヒ本年肚同第七十
五號布達左ノ通更正ス

右布達候事

一現役輜重輪卒在郷中身上ニ異動ヲ生スルハ徵兵事
務條例第九十六條ニ準據シ番號割符ヲ添ヘ郡區駐在
官ヘ届出ヘシ但他府縣ニ係ルモノハ同條例第八十四
條ノ例ニ據ル可シ

一補充員及第一豫備徵員身上ニ異同ヲ生シ徵兵事務條

例第九十六條及ヒ全條例第九十九條ノ届出ヲナスニ
際ニ番號割符ノ訂正ヲ要スルモノハ該届書ヘ戸籍寫
並ニ番號割符ヲ添ヘ差出スヘシ

甲第百九號

明治十八年十一月十九日

海軍武官結婚條例別紙之通相定ラル
右布達候事

(別紙)

海軍武官結婚條例

第一條 凡ソ軍人ノ結婚セント欲スル者將官並ニ同等
官ニ在テハ勅許ヲ仰キ准士官以上ニ在テハ海軍卿ノ

布達類聚

百六十六

許可ヲ受ケ下士卒ニ在テハ所管長官ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 小尉補機關士補軍醫補主計補ハ年齡二十五歳
以上ニ至ラサレハ結婚スルコトヲ許サス

第三條 下士卒ニシテ左ニ掲クル者ハ結婚スルコトヲ
許サス

一 年齡二十五歳未滿ノ者 一 若水兵若火夫

一 徵兵令ニ據リ徵集シタル現役兵

第四條 娶ルヘキ婦人ハ行狀端正ニシテ年齡十六歳以
上ノ者タルヘシ

第五條 結婚ノ許可ヲ得ント欲スル者ハ第八條第一號

書式ノ願書ニ第二號書式ノ身元證書ヲ添テ出願スヘシ

第六條 將官並ニ同等官ノ願書ニハ海軍卿准士官以上ノ願書ニハ所管長官下士卒ノ願書ニハ所管長與書證印スヘシ

第七條 結婚ヲ整ヘタル時ハ其旨速ニ届出ヘシ

第八條 結婚願書式並ニ身元證書式ハ左ノ如シ

第一號書式

結婚願

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)

布類達聚

百六十七

何番地華士族平民

何某何女(姉)(妹)

某

年月日生
年月何年何箇月

某 儀

今般熟談ノ上右ニ記載ノ者ト結婚致度候間御許可被下
度別紙身元證書相添此段奉願候也

年月日

官(職) 姓名 印

太政大臣(海軍卿)(所管長官宛)

前書之趣篤ト取調候處不都合無之ニ付御許可相成度候

也

海軍卿(所管長官)(所轄長)

官姓名印

第二號書式

身元證書

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)

何番地華士族平民

何某何女(姊)(妹)

某

年月日生
年月何年何箇月

布達類聚

百六十八

右ハ行狀端正ノ者ニシテ年齡モ前書ノ通相違無之候此
段致保証候也

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)

戶長

姓名印

乙第九號

明治十八年二月六日

郡區役所

戶長役場

明治十七年卯乙第四號海軍省達海軍卒職名表左ノ通改
正相成候條爲心得此旨相達候事

海軍機關學校條例第七十五條中(十七)(十九)ニ機關學校ニ於テ身体検査)ヲ(東京ニ於テ身体検査學科略試験ノ上適合ノ者ハ更ニ機關學校ニ於テ)ニ改正相成候條此旨相達候事

乙第十八號

明治十八年二月廿三日

郡區役所

明治十三年陸軍省達甲第七號達輜重輸卒概則中左ノ通增加改正相成候條此旨相達候事

第六條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第七條 輸卒中入營練習セシモノニシテ輜重輸卒ノ

布達類聚

百七十

組長ニ適任ノ者ハ退營ノ際適任證書ヲ附與シ所要ノ日ニ於テ其職務ヲ奉セシム

第七條ヲ第八條トシ左ノ如ク改メ其次ニ一條ヲ加フ

第八條 所要ノ日ニ當リ召集スル所ノ輸卒ニハ適宜

ノ被服紫色ノ襟章ヲ附スヲ與ヘ日給ハ輜重兵二等卒ニ同フス但

戰時増俸ヲ給スルノ場合ニ在テハ組長ノ職務ヲ奉ス

ル者ニハ日給ノ外輜重兵二等卒ニ同シキ増俸ヲ給ス

ヘシ

第九條 輜重輸卒組長ノ職務ヲ奉スル者ニハ袖章紫

内記打ノ小線幅二分一條ヲ附ス

輸卒組長適任證書雛形

七寸八分

五寸六分

第 號

輸卒組長適任證書

府縣族籍

鎮臺

明治何年

名簿番號

姓 名

右輸卒組長ノ職務ニ適當

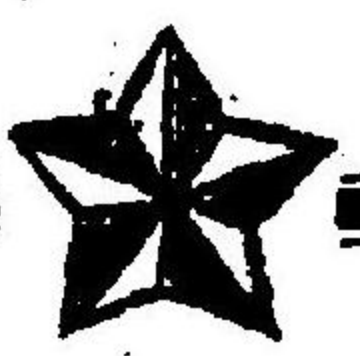
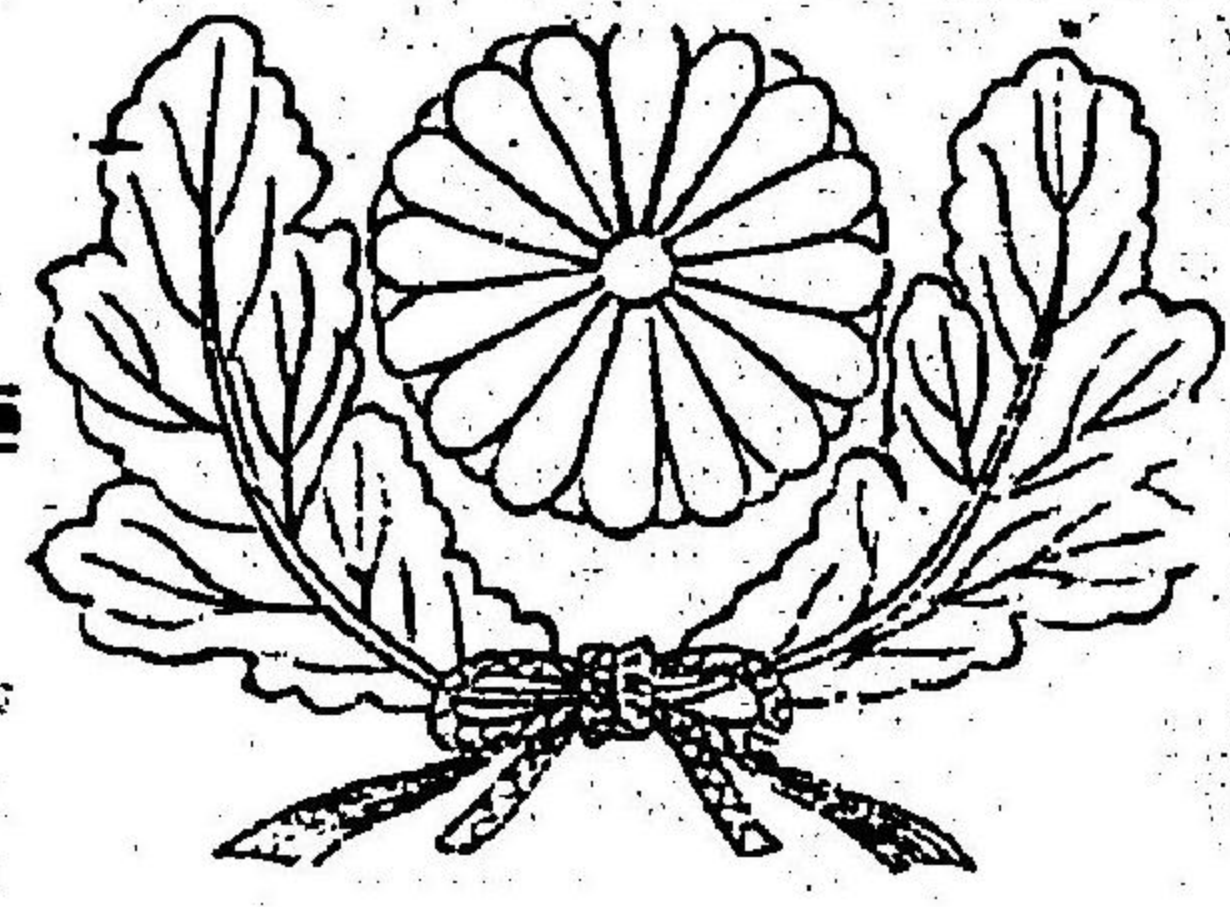
ノ者ト確認候也

年 月 日

(輸卒隊長)

職官位勲等姓名印

八寸二分



乙第二十五號

明治十八年三月十六日

郡區役所

戶長役場

海軍軍法會議ニ於テ刑ノ宣告アリタル時ハ其宣告書寫
ヲ以テ主理ヨリ受刑者本籍ノ戶長へ通牒ノ處自今郡區
長へ通牒可相成候條此旨相達候事

乙第三十四號

明治十八年四月十三日

郡區役所

戶長役場

徵兵令第十一條ニ掲クル一ケ年志願兵中本年入營ノ步

布達類聚

百七十一

兵並ニ看護卒取扱手續別紙ノ通被相定候條爲心得此旨
相達候事

(別紙)

第一項 志願兵ハ鎮臺下屯在ノ步兵隊ニ編入シ步兵ニ
在テハ服役中該隊ニ於テ教育ヲ爲サシメ看護卒ニ在
テハ徵兵看護卒取扱手續第九條ノ第一教科ノミヲ該
隊ニ於テ教習セシム可シ

第二項 志願兵編入ノ法ハ其人員ニ應シ各聯隊ニ割合
之ヲ分附ス可シ

第三項 志願兵取扱ハ步兵ニ在テハ入營後概テ二ケ月

間ハ他ノ生兵ト同一ニシテ其後ハ修業兵ニ準シ看護卒ニ在テハ概テ徵兵看護卒取扱手續ニ據ルモノトス

第四項 歩兵志願者教育ハ概テ修業兵ニ準スト雖トモ其進歩程度ニ從ヒ適宜ノ學術ヲ教授ス可シ

第五項 看護卒志願者教育ハ徵兵看護卒ト共ニ之ヲ爲サシメ而シテ徵兵看護卒取扱手續第九條ノ第一教科ヲ卒シテ之ヲ該地陸軍病院ニ附屬セシメ同條第二第三教科ヲ教習スルノ後其進歩ノ程度ニ從ヒ適宜ノ學術ヲ教授ス可シ

第六項 學術進歩ノ程度ニ從ヒ徵兵令第十一條第二項

布達類聚

ニ據リ一ケ年未滿ニシテ歸休ヲ命スル者アルトキハ歩兵ハ聯隊長看護卒ハ病院長之ヲ檢覈シ鎮臺司令官ニ具申シ許可ヲ受ク可シ

但東京ニ在テハ陸軍病院長ハ軍醫本部長ノ許可ヲ受クルモノトス

第七項 志願兵中品行方正勤務勉勵ニシテ技藝ニ熟達シ下士ノ任ニ堪ユ可キ者ハ滿期若クハ歸休ヲ命スルノ際歩兵ハ聯隊長看護卒ハ病院長下士適任證書ヲ附與ス可シ又教育上拔群ノ結果ヲ得タルモノハ歩兵ニ在テハ聯隊長看護卒ニ在テハ病院長ヨリ其旨鎮臺司

令官ニ具狀シ許可ヲ得テ士官適任證書ヲ附與スヘシ
但東京ニ在テハ陸軍病院長ハ軍醫本部長ノ許可ヲ
受クルモノトス

第八項 鎮臺司令官士官適任證書附與ノ具狀ヲ受クル
トキハ歩兵ハ陸軍卿ノ許可ヲ得歩兵二等軍曹ニ任シ
看護卒ハ其旨軍醫本部長ニ移牒シ三等看護長ニ任ス
ルノ後之ヲ許可ス可シ

第九項 軍醫本部長ハ前項鎮臺司令官ノ移牒ヲ受ケ若
クハ東京陸軍病院長ノ具狀ヲ受クルトキハ陸軍卿ノ
許可ヲ得テ三等看護長ニ任スヘシ

布達類聚

百七十三

但東京陸軍病院長ノ具狀ニ係ルモノハ任官ノ上士
官適任證書ノ附與ヲ許可ス可シ

第十項 志願兵服役滿期豫備役ニ編入ノ手續ハ尋常現
役兵滿期ノ例ニ準ス可シ又豫備役編入後ハ凡テ尋常
現役兵ニテ豫備役編入後ノ取扱ニ異ナルコトナシ

雜形

六寸八分
五寸六分

第 號

士官適任證書

府縣族籍

明治何年第何軍管一年志願兵

步兵二等軍曹(三等看護員) 何 某

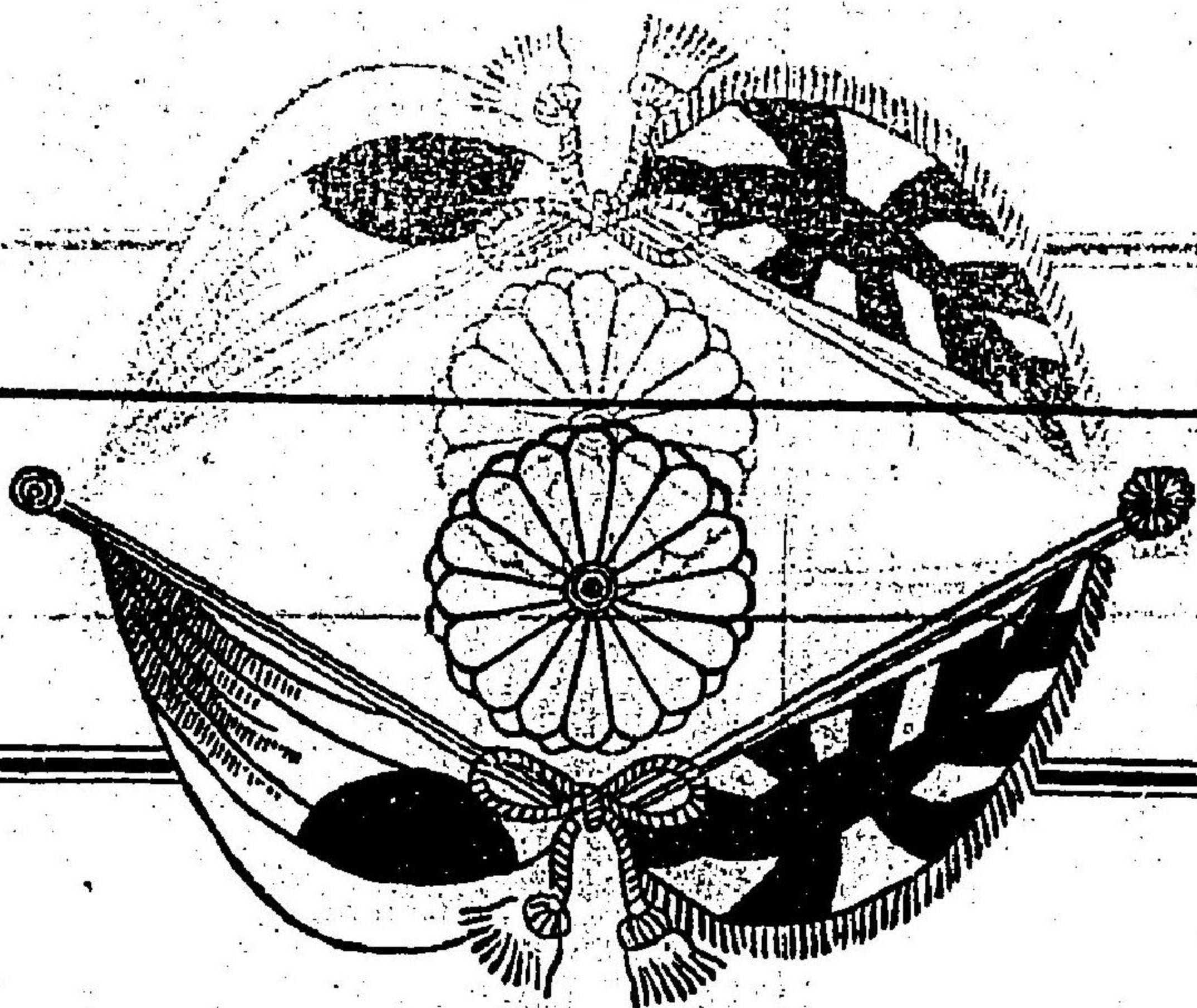
右步兵(軍醫部)士官適任ノ者

ト確認候也

明治何年何月何日

聯隊長(病院長)

職官位勲姓名印



本簿ノ綴込ニ
付テ時ノ経過ヲ

證書ノ所管ノ銜臺ニ於テ
關製ノ料紙ハ島ノ子紙ノ類ヲ用ヒ上木ノ節朱書ノ文字ヲ省

キ置附與ノ時之ヲ加書ス可キ
(一ハ朱書文字ノ印ナリ)

文字ヲ省

雛形

五寸六分

第 號

下士適任證書

府縣族籍

明治何年第何軍管一年志願兵

步兵(看護卒) 何 某

右步兵(軍醫部)下士適任ノ者

ト確認候也

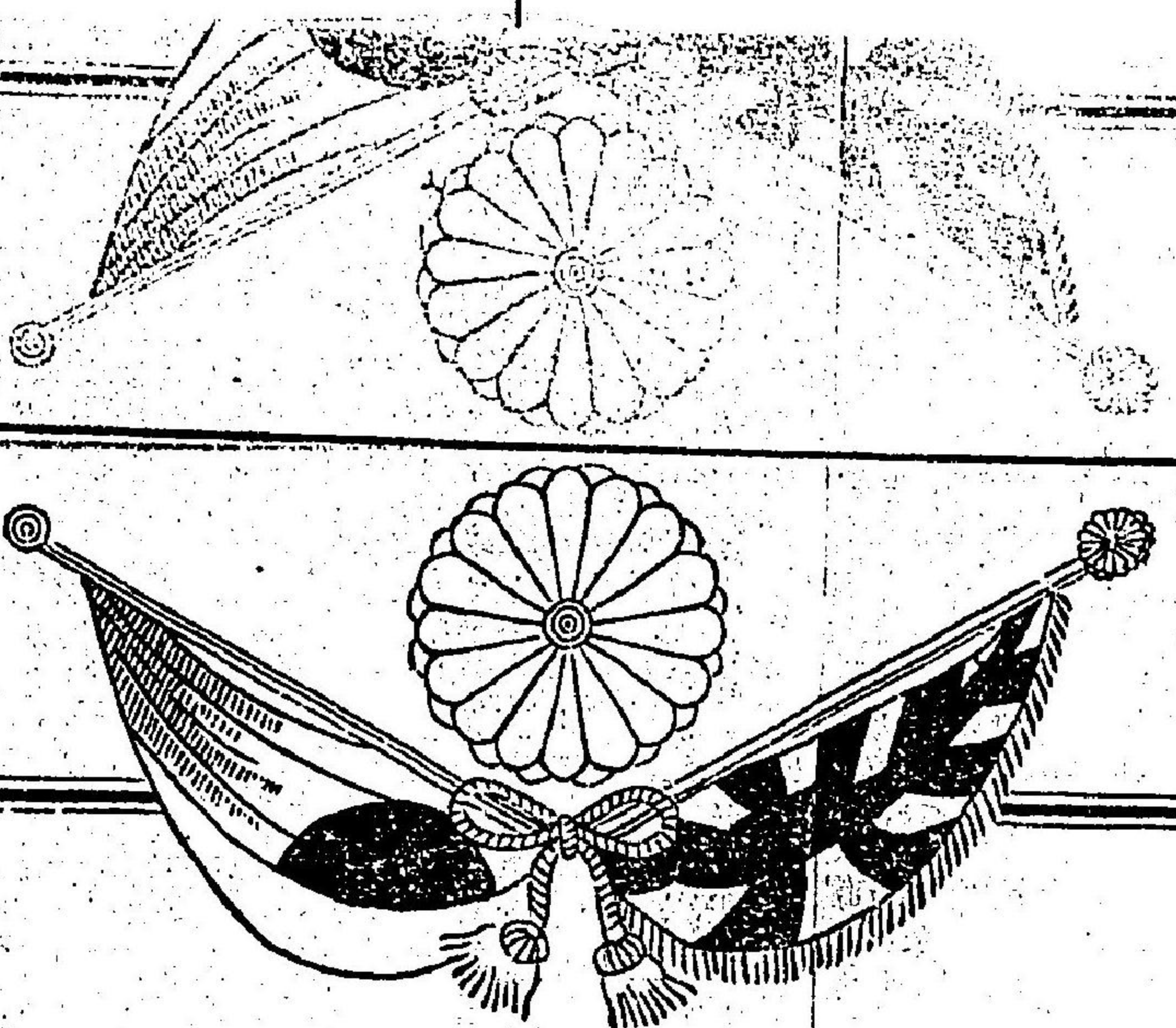
明治何年何月何日

聯隊長(病院長)

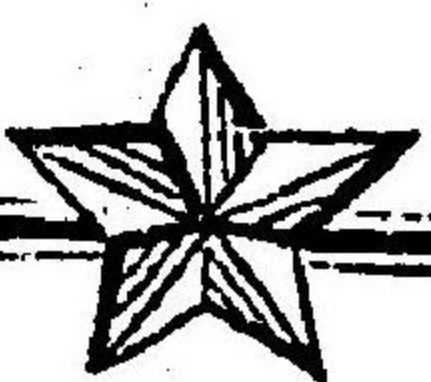
職官位勲姓名印

證書ハ所管ノ鎮臺ニ於テ調製シ料紙ハ鳥ノ子紙ノ類ヲ用ヒ上木ノ節朱書ノ文字ヲ省キ置附與ノ時之ヲ加書ス可シ (一ハ朱書文字ノ印ナリ)

通關書



何
何
何



乙第五十一號

明治十八年五月八日

郡區役所

戶長役場

明治十五年勅當縣乙第三百三十六號海軍軍醫學會規則中
左之通改正增加相成候條此旨相達候事

第十條改正

海軍軍醫生徒ハ分ナテ私費官費ノ二ト爲ス

第十二條增加

私費生徒ハ毎年廿人宛華士族平民中其年齡十七年以上
廿年以下ニシテ海軍出身志願ノ者ヨリ選拔ス

布達類聚

百七十四

第十三條 原第十二條改正

官費生徒ハ其定員ヲ五十人トス而シテ之ヲ五號ニ分テ
テ各號即テ十人トシ毎年一號宛私費生徒ヨリ選拔スル
ヲ例トス

第十三條ヲ第十四條ニ改メ生徒ノ上(官費)ノ二字加フ

第十四條ヲ第十五條ニ改ム

第十五條ヲ第十六條ニ改メ學期ハノ下(官私ヲ通シテ)ノ
六字ヲ加フ

第十六條ヲ第十七條ニ改メ以下順次繰下ク

原第二十六條中(十六條)ヲ(十七條)ニ同第三十四條中(第二

十五條第三十二條及ヒ第三十三條(テ)第二十六條第三十三條及ヒ第三十四條)ニ同第三十五條中(第十條)ヲ第十二條)ニ改ム

乙第五十三號

明治十八年五月十四日

郡區役所

戸長役場

屯田兵條例左之通被相定候條此旨相達候事
屯田兵條例

第一章 總則

第一條 屯田兵ハ陸軍兵ノ一部ニシテ北海道樞要ノ地

布達類聚

百七十五

ニ配置シ本道ノ警備ニ充ツ但第七軍管管下諸縣ニ全ク徵兵令ヲ施行スルニ至レハ之ヲ廢スルモノトス其本部ハ之ヲ札幌ニ置ク

第二條 屯田兵ノ建制ハ概テ步兵隊ニ基クト雖モ兵ヲ農ニ寓スルノ主旨ニ依リ平常ハ給與ノ家屋ニ居住シ開墾耕稼ノ事ニ從ハシメ有事ノ日ニ方リテハ戰列隊ニ編成シ敵衝ニ當ラシム

第三條 屯田兵ハ志願者函館縣札幌縣根室縣及
沖繩縣ノ在籍者ヲ除ク中身體強壯且ツ年齡十七歲以上三十歲以下ノ者ヨリ撰用ス

第四條 屯田兵タル者ハ其家族ト共ニ北海道ニ移住シ

兵役ニ服スルモノトス
其服役期限ハ豫メ之ヲ定メス故ニ服役者死亡スルカ
其他事故アリテ免除セサルヲ得サル時又ハ年齢四十
歳ニ至レハ其子弟ヲシテ兵役ヲ相續セシム但幼弱ニ
シテ未タ服役ニ堪ヘサル者ハ其成長ヲ待テ服役セシ
ム
第五條 屯田兵ノ將校下士及ヒ兵卒ハ第六條ヨリ第十
三條迄ニ據リ其進級ヲ爲スモノトス但進級法ハ其最
下限ヲ示ス者ナルヲ以テ之ヲ超ユル者ト雖モ必シモ
直ニ進級セシムルノ例ニアラス

布達類聚

第六條 屯田兵卒ハ入隊後六ヶ月ノ後生兵學卒業ノ上
二等卒ヲ命ス

第七條 一等卒ハ屯田兵二等卒ノ服役六ヶ月ヲ經タル
者ヨリ撰拔シテ之ヲ命ス

第八條 上等兵ハ屯田兵一等卒中ヨリ撰拔シテ之ヲ命
ス

第九條 二等軍曹ハ屯田兵上等兵ノ服役六ヶ月一等卒ヲ命
スル日ヨリ
起算ヲ經タル者ヨリ撰任ス

第十條 一等軍曹ハ屯田兵二等軍曹ノ服役六ヶ月ヲ經
タル者ヨリ撰任ス

第十一條 曹長ハ屯田兵一等軍曹ノ服役一ケ年ヲ經タル者ヨリ撰任ス

第十二條 下副官ハ屯田兵曹長中ヨリ適任ノ者ヲ撰任之ニ任ス

第十三條 士官以上ハ屯田兵曹長以上ノ者ニテ左ノ停年最下限ヲ超エタル者ヨリ拔擢シテ順次進級セシムルモノトス

一曹長ヨリ少尉ニ少尉ヨリ中尉ニ中尉ヨリ大尉ニ 滿二年

一大尉ヨリ少佐ニ 滿四年

一少佐ヨリ中佐ニ 滿三年

布達類聚

一中佐ヨリ大佐ニ 滿二年

但少尉ニ限リ試補ヲ置キ少尉ノ缺員アル毎ニ曹長停年ノ最下限ヲ超ヘタル者ヲ撰任シ少尉試補ニ陞セ其才能ヲ試ミ然ル後本官ニ任ス

第十四條 士官以上ノ缺員ハ前條ニ示ス如ク順次進級セシメ又ハ各兵科士官以上ノ者若クハ文官中ヨリ適任ノ者ヲ採用シ補填スルモノトス

第二章 職制

第十五條 屯田兵本部長ハ少尉若クハ屯田兵大佐一名ヲ以テ之ニ任シ直ニ陸軍卿ニ隸シ部下ノ屯田兵ヲ統

轄シ其勤惰能否ヲ監視シ屯田兵本部ノ事務ヲ總理ス
第十六條 本部長ハ有事ノ日ニ方リテハ屯田兵ヲ指揮
シ方面ノ敵衝ニ當ルヲ以テ任トス

第十七條 屯田兵本部次長ハ屯田兵中少佐ノ内一名ヲ
以テ之ニ任シ長ヲ補佐シテ部事ヲ整理シ長事故アル
時ハ其代理ヲ爲スコトヲ得

第十八條 本部副官ハ屯田兵大尉一名ヲ以テ之ニ任シ
本部長ノ命ヲ奉シ部事ヲ整理シ課僚書記ノ勤惰ヲ監
視ス

第十九條 大隊長ハ屯田兵少佐之ニ任シ部下ノ指揮ヲ

布達類聚

百七十八

掌リ勤惰能否ヲ監視シ又開墾授産等隊中百般ノ事務
ヲ總理ス

第二十條 大隊副官ハ屯田兵中尉之ニ任シ其隊中ノ庶
務ヲ掌リ下副官以下大隊附下士ノ勤惰ヲ監視ス

第二十一條 大隊下副官ハ屯田兵曹長之ニ任シ大隊副
官ノ命ヲ受ケ大隊中ノ庶務ヲ掌リ其細務ニ服セシム

第二十二條 中隊長ハ屯田兵大尉之ニ任シ部下ノ指揮
ヲ掌リ勤惰能否ヲ監視シ又開墾耕稼等隊中ノ事務ヲ
總理ス

第二十三條 小隊長ハ屯田兵中少尉之ニ任シ部下ノ指

揮ヲ掌リ勤惰能否ヲ監視シ又中隊長ノ命ヲ受ケ開墾
耕稼等ノ事務ヲ分掌ス

乙第五十五條

明治十八年五月十八日

郡區役所

戶長役場

豫備後備其他在郷諸兵犯罪處分ヲ受ケタル者届出ノ際
重罪ニ在テハ所屬後備軍司令官輕罪以下ニ在テハ郡區
駐在官ヘ宛テ其罪狀並ニ刑名等ヲ詳記シ届出サスヘシ
此旨相達候事

但後備軍司令官宛ノ届書ハ郡區駐在官ヲ經由スヘシ

布達類聚

百七十九

乙第六十八號

明治十八年六月二十日

郡區役所

戶長役場

軍馬輸送ノ途中發病等ノ節ハ左ノ各項ニ據リ可取扱旨
陸軍省ヨリ達有之候條此旨相達候事

第一項 軍馬輸送ノ途中ニ於テ馬匹疾病若クハ傷痍ヲ
生シ歩行ニ堪ヘ難クシテ其取締ヨリ治療日數ヲ豫定
シ其地戶長ニ預ケ方ヲ協議スルハ戶長ハ之ヲ確實
ナル者ニ預ケ豫定期日ニ至レハ(期日內ト雖モ全快ス
ルトキハ直ニ出發セシム)馬夫ヲ雇ヒ直ニ鎮臺ニ送致

セシムルコトヲ保シ取締ニ左式ノ受書ヲ出スヘシ
但馬匹預ケ中ハ飼料並ニ手當トシテ一日金三拾五
錢以内ヲ給シ其出發後ハ馬匹旅籠料金三拾錢雜費
金九錢其他馬夫給料及ヒ旅費トシテ一日金七拾錢
以内里程六里乃至八里諸トスヲ以テ鎮臺到着ノ日迄之ヲ給シ歸路
ハ別ニ給スルコトナシ

受書式

- 一馬名
- 一寸尺
- 一毛色

布達類聚

一年齡

右何症ニ罹リ當町(村)ニ於テ何週間治療ヲ加ヘ全快ノ見
込ニ依リ御預ケ相成候ニ付テハ快氣ノ上何鎮臺ニ差
立方取計可申右相違無之候也

縣郡(區)町(村)戸長

年號月日

姓 名 印

何鎮臺

官姓名殿

第二項 前條ノ馬匹豫定期日ニ至リ尙ホ歩行ニ堪ヘ難
キトキハ戸長ハ更ニ治療期日ヲ豫定シ獸醫ノ診斷書

ヲ添へ其旨鎮臺ニ申出可シ又出發後途中ニ於テ再ヒ
發病歩行シ難キトキハ馬夫ヨリ其地戸長ニ申出シメ
其他戸長ハ速ニ獸醫ヲシテ治療ヲ加ヘシメ其旨電報
ヲ以テ鎮臺ニ申出指揮ヲ受クヘシ

但其治療滞在中ハ馬匹旅籠料及ヒ雜費ノ外尙ホ馬
夫給料手當トシテ一日金四拾錢ヲ給スヘシ

第三項 馬匹ノ病症到底癘疾ニ歸ス可キ者ト獸醫診斷
シ確實ナルキハ取締出發後ハ其地戸長ヨリ電報ヲ以
テ之ヲ鎮臺ニ具申シ賣却又ハ撲殺ノ處分ヲ請フ可シ
若シ急症ニシテ斃死セシトキハ獸醫ヲシテ其病因ヲ

布達類聚

診斷セシメ賣却又ハ埋没シ其事由ヲ鎮臺ニ具申スヘ
シ

但シ斃死セシ馬匹ハ成ル可ク之ヲ賣却シ其代價ニ
獸醫ノ診斷書ヲ添へ上納スヘシ若シ傳染病ニテ賣
却ス可カラサル者又ハ其他ノ事故ニテ賣取者ナキ
トキハ一頭ニ付金三圓以内ヲ以テ埋没又ハ燒棄ス
可シ

第四項 病馬ノ診察料藥價並ニ馬匹預ケ中及ヒ出發後
ノ費用ハ其治療ノ日數ト旅行ノ里程ニ應シ取締ヨリ
豫シメ之ヲ其地戸長ニ交付スルヲ以テ戸長ハ後日決

算ヲ爲シ之ニ現證書ヲ添へ鎮臺ニ送呈シ其費用ニ關
スル證書類ニハ總テ戸長之ニ檢印ス可シ又取締等途
中ニ於テ己ムヲ得サル事故ヲ生シ軍馬宿泊指定表ノ
通行行スル能ハス爲メニ戸長ノ證印ヲ請フトキハ戸
長ハ事實取糺ノ上該表ノ裏面ニ其事由ヲ記シ之ニ檢
印ス可シ

乙第六十九號

明治十八年六月二十日

郡區役所

戸長役場

明治十七年此當縣乙第三百三十一號達陸軍士官學校條例

布達類聚

百八十二

第三章第七條但書中「陸軍卿ノ許可ヲ得」ノ八字削除候條
此旨相達候事

乙第七十四號

明治十八年六月廿九日

郡區役所

本年此當縣乙第六十七號達陸軍教導團各兵科生徒及喇
叭生徒入學檢査格例第六條中白文訓點ノ下
「唐宗八大家文
文章軌範ノ類」

「日本歴史
地誌ノ類」ニ改メ候條此旨相達候事

乙第九十三號

明治十八年七月廿三日

郡區役所

戸長役場

算ヲ爲シ之ニ現證書ヲ添へ鎮臺ニ送呈シ其費用ニ關
スル證書類ニハ總テ戸長之ニ檢印ス可シ又取締等途
中ニ於テ己ムヲ得サル事故ヲ生シ軍馬宿泊指定表ノ
通行行スル能ハス爲メニ戸長ノ證印ヲ請フトキハ戸
長ハ事實取糺ノ上該表ノ裏面ニ其事由ヲ記シ之ニ檢
印ス可シ

乙第六十九號

明治十八年六月二十日

郡區役所

戸長役場

明治十七年此當縣乙第百三十一號達陸軍士官學校條例

布達類聚

百八十二

第三章第七條但書中「陸軍卿ノ許可ヲ得」ノ八字削除候條
此旨相達候事

乙第七十四號

明治十八年六月廿九日

郡區役所

本年此當縣乙第六十七號達陸軍教導團各兵科生徒及喇
叭生徒入學檢査格例第六條中白文訓點ノ下「唐宗八大家文
文章軌範ノ類」

乙第九十三號

明治十八年七月廿三日

郡區役所

戸長役場

海軍再役志願者賜暇規則別紙之通被相定候條此旨相達候事

但明治十一年本縣乙第二百三十號達ハ廢止ス

再役志願者賜暇規則

第一條 海軍下士服役規則第四條及海軍志願兵徵募規則第八條ニ依リ再役ヲ許ス者ハ其際再役年數一ケ年ニ付往返日數ヲ除キ七日ノ割ヲ以テ所管長ヨリ歸郷休暇ヲ許ス可シ

但六十日ヲ超過スルヲ得ス

第二條 往返日數ハ各自郷里ノ遠近汽船瀛車ノ便否等

布達類聚

百八十三

ニ因リ臨時適宜ニ之ヲ定ムルモノトス

第三條 休暇中ハ日給本給三分ノ二及食料金拾五錢ヲ給ス但休暇日限事故アリテ尙ホ滞在ヲ願フモノハ其日限外ノ滞在中ハ日給及食料ヲ給セス

第四條 往返旅中ハ日給本給三分ノ二及旅費一日十里詰メ金四十錢宛ヲ給シ瀛車瀛船ノ便アル路程六里以上ハ其里數ニ拘ハラヌ其下等賃金ヲ給ス但片道六里以上十里未滿及ヒ十里以上ノ端里數一里以上ハ一日分ヲ給シ片道六里未滿十里以上ノ端里數一里未滿一切給セス

第五條 日給及ヒ食料ハ各艦船營等ニ於テ操上ケ之ヲ

支給ス

第六條 歸郷ノ旅費ハ各艦船營等ヨリ支給シ歸艦歸營等ノ旅費ハ各艦船營ニ於テ本人管轄地方廳ニ委託シテ本人居住地ノ戸長へ送附シ而シテ本人ヲシテ旅行證ヲ示シ之ヲ受取ラシム但其委託金ニ付事故アル時ハ會計局へ照會ス可シ

乙第九十五號

明治十八年七月二十四日

郡區役所

戸長役場

明治十五年三月當縣乙第五十五號達徴兵入費定則十八

布達類聚

百八十四

年度限り相廢シ徴兵旅費定則別紙之通更ニ被相定來
十九年度ヨリ施行相成答候條此旨相達候事

(別紙)

徴兵旅費定則

第一條 檢丁及呼出ニ係ル檢丁ノ父兄并ニ抽籤總代人
検査所又ハ抽籤場へノ旅費ハ往復六里旅行ヨリ一里
ニ付金貳錢五厘ノ割合ヲ以テ之ヲ給ス其支給方法ハ
一検査所又ハ一抽籤場毎ニ打切り一里未滿ノ端數ハ
切棄トス若シ同所ニ滞在セシムル中ハ滞在日當金貳
拾貳錢ヲ給ス

第二條 檢丁若クハ呼出ニ係ル父兄癡疾不具等ニシテ保護人ヲ要セサレハ検査所ニ出頭シ難キ場合ニ於テ該保護人ニ給スル旅費並ニ滞在日當額ハ前條ニ據ル

第三條 檢丁若クハ呼出ニ係ル父兄癡疾不具等ニシテ歩行シ難キモノハ第一條旅費日當ノ外一里ニ付金七錢ノ割ヲ以テ車駕賃ヲ給ス

第四條 新兵入營ノ旅費ハ三里以上ヨリ一里ニ付金四錢ノ割ヲ以テ給シ若レ滞在セシムルハ滞在日當金貳拾八錢ヲ給シ其附添人ハ一般旅費定則ニ據リ支給ス

布達類聚

第五條 新兵入營途中川留雪支船待若クハ病氣等ニテ延滞ノキハ其地郡區長又ハ戶長ノ證明書及醫師ノ診斷書アル者ハ滞在日當ヲ給ス又疾病足痛等ニシテ歩行シ難ク車駕ヲ雇ヒタルトキハ醫師ノ診斷書及ヒ通運會社等ノ受取證書アル者ニ限リ其車駕賃ヲ給ス

但車駕賃ノ申請ニハ入營附添人ノ證明書其附添人ナキ場合ハ沿道戶長ノ證明書ヲ付スヘシ

第六條 各廳ノ便宜ニヨリ此定則中ノ給額ヲ減少スルハ適宜タルヘシ

乙第百七號

明治十八年八月十七日

郡區役所
戸長役場

陸軍軍醫講習生假規則別紙之通相定メラレ候條此旨相達候事

但明治十六年七月當縣乙第百三十五號達ハ廢止ス
(別紙)

陸軍軍醫部講習生假規則

第一條 軍醫部講習生ハ陸軍軍醫官ニ出身志願ノ者ヲ撰拔シ軍醫本部ニ於テ之ニ要用ナル學術ヲ教授シ卒業ノ上ハ三等軍醫三等藥劑官ニ任シ若クハ軍醫試補

布達類聚

藥劑官試補トナシ其職務ヲ奉セシムルモノナリ

第二條 講習生ヲ軍醫生藥學生ノ二トシ陸軍部内若クハ華士族平民中軍醫生ハ醫術開業免狀藥學生ハ藥舖開業免狀ヲ所持スル者ニシテ檢査定格ニ合スル者ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 檢査合格ノ上採用スルハ直テニ本人ニ達シテ入學セシム而シテ陸軍部内ノ者ハ其旨趣ヲ軍醫本部ヨリ各所管ニ通報スヘシ但下士ヨリ入學ノ者ハ軍醫本部ニ於テ其本官ヲ免シタル後入學セシムルモノトス

第四條 講習生ハ入學ノ日ヨリ陸軍一定ノ規則ヲ遵奉セシム故ニ入學後ハ決シテ他志ナク陸軍ニ從事スルノ誓約ヲナサシム

第五條 講習生修學ノ期限ハ五ヶ月トス然レモ疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニ由リ豫定ノ學術ヲ修得シ能ハサル者ハ尙ホ若干月ヲ延期スルコトアルヘシ

第六條 講習生修學中ハ情願ヲ以テ歸省又ハ退學スルコトヲ許サス然レモ病氣若クハ行狀不正又ハ法則ヲ犯シ或ハ怠惰ニシテ卒業ノ目途ナキモノハ退學セシムヘシ但下士卒ヨリ入學ノ者ハ更ニ下士若クハ卒トナ

布達類聚

百八十七

シ舊所管ニ復シ定期ノ年限前役及ヒ生徒修學中ノ日數ヲ通算スヲ服役セシメ又華士族平民ヨリ入學ノ者ニシテ行狀不正或ハ怠惰等ニ依リ退學セシムル者ハ入學中ノ費用ヲ直チニ上納セシムルモノトス

第七條 講習生ハ官費生ト自費生トノ二種トス其官費生ハ修學ノ費用及ヒ居宅衣服ノ料トシテ若干ノ手當金ヲ給シ其自費生ハ一切ノ費用總テ自辨タルヘシ但修學上ノ器械物品ハ官給トス

第八條 講習生ハ私宿ニ在テ日々軍醫本部ニ通學シ軍醫或ハ藥劑官ノ學術其他ノ事ヲ研究セシム但時宜ニ

因リ醫官若クハ藥劑官ノ助手タラシムルヲアルヘレ
第九條 講習生ハ學期ノ終リニ於テ試験ヲ行ヒ及第ス
ル者ハ之ヲ優等及ヒ通常ノ二種ニ區別シ各卒業證ヲ
授與ス

第十條 講習生ハ試験ヲ受ルノ後優等卒業證ヲ得タル
者ハ三等軍醫若クハ三等藥劑官ニ任シ通常卒業証ヲ
得タル者ハ軍醫試補若クハ藥劑官試補トナスヲ例ト
ス但優等卒業證ヲ得ル者ト雖モ修學中懲罰ノ所斷ヲ
受ケシ者等ハ軍醫試補藥劑試補トナスヲアルヘシ
第十一條 講習生ノ召募ハ陸軍卿之ヲ陸軍部内及ヒ府

布達類聚

縣ニ達シ其検査ハ検査格例ニ準據シ軍醫本部ニ於テ
之ヲ爲スヲ例トス故ニ軍醫本部長ハ所要ノ人員並ニ
召募ノ時限等ヲ豫メ陸軍卿ニ上申スヘシ但時宜ニ依
リ在東京ノ者ノミチ召募セシムルヲアルヘシ

第十二條 講習生召募ノ達アレハ陸軍部内ニ在テハ近
衛鎮臺又ハ各官廨ニ於テ其志願者ヲ取調ヘ左式ノ書
面ニ本人ノ名簿寫並ニ醫術開業免狀或ハ藥舖開業免
狀寫ヲ添ヘ軍醫本部ニ送附シ各府縣ニ在テハ之ヲ管
下ニ達シ志願者ヲシテ第十三條ノ手續ヲ爲サシムヘシ
軍醫部講習生入學志願人名

隊號所管

官 姓 名

年號月日生
年號月何年何ヶ月

全

何兵卒 姓 名

全全

右軍醫部講習生入學志願ニ付名簿寫並ニ醫術開業免狀(藥舖開業免狀)寫相添差出候間御検査ノ上入學御差許有之度候也

(所管長官)

布達類聚

百八十九

年號月日

職官姓名印

(軍醫本部長)

職官姓名殿

第十三條 華士族平民ヨリ軍醫部講習生志願ノ者ハ左式ノ願書ニ履歷書及ヒ醫術開業免狀(藥舖開業免狀)寫ヲ添へ本籍若クハ寄留地府縣ノ奥書證印ヲ受ケ直ニ軍醫本部ニ差出スヘシ

願書式 用紙美濃白紙以下履歷書之ニ同シ

軍醫部講習生入學願

某 儀

陸軍出身志願ニ付此度軍醫部講習生入學(自費)入學奉願候間御検査ノ上御採用被下度別紙履歴書並ニ醫術開業免狀(藥舖開業免狀)寫相添此段奉願候也

府(縣)何族(平民)

戸主名何男(兄)(弟)(伯)(叔)(甥)(附籍)

何國何郡(區)何町(村)何番地住(寄留)

姓名印

身元引受人

府(縣)何族(平民)

東京府下何郡(區)何町(村)何番地住(寄留)

年號月日生
年號月何年何ヶ月

布達類聚

百九十

姓名印

全

全

年號月日

全

(軍醫本部長)

職官姓名殿

前書之通調査候處相違無之候也

府(縣)何郡(區)何町(村)戸長戸長アラス
地ハ區長

姓名印

前書之通相違無之候也

履歷書式 書式ニ示ス外履歷ニ係ル者
アルハ悉ク記載スヘシ 府〔縣〕知事〔令〕 姓 名 印
履歷書

府〔縣〕何族〔平民〕職業

戶主名何男〔兄〕〔弟〕〔伯〕〔叔〕〔甥〕〔附籍〕

姓 名

年號月日生
年號月何年何ヶ月

一 祖父母 何某 存亡

一 父母〔養父母〕 全 全

此他兄弟姊妹等在籍ノ者ハ皆之ニ準レテ記載スヘシ

布 達 類 聚

一 何年月日ヨリ何年月日マテ何學校〔何塾〕ニ入リ教師
某ニ就テ何學修業

一 何年月日ヨリ何年月日マテ何學研究ノ爲メ何國
外云ニ在留

一 何年月日何學校〔何塾〕ニ於テ何學卒業何年月日右證
ヲ受ク

一 何年月日內務省第何號醫術開業免狀〔藥舖開業免狀〕
ヲ受ク

一 何年月日任何官〔補何等出仕〕〔免本官〕〔出仕被免〕何省
〔府〕

(縣)等

一何年月日何職被申付月給何圓(何職被免)(何省(府)(縣)等)

一何年月日何ニ依テ賞典何々下賜ル

一何年月日何ノ科ニ依リ何罰被申付

右之通相違無之候也

本人 姓名印

右身元引受人

姓名印

全

年號月日

前書之通相違無之候也

布達類聚

百九十二

府(縣)何郡(區)何町(村)戸長戸長アキラル地ハ區長

姓名印

第十四條 陸軍部内ノ者及華士族平民共検査ノ定格左ノ如シ

第一則 年齢三十五年以下ノ者

第二則 体格

第三則 學科

第十五條 華士族平民ヨリスル合格者検査ノ上入學ヲ命スル者ハ父兄親族其他一家ヲ成ヌ身元慥ナル者ニ東京居住ノ者ニ限ルヲ身元引受人ト爲シ官費ノ者ハ左式第一號

自費ノ者ハ第二號ノ入學證書ヲ差出サシム
第一號證書式 用紙美濃白紙覆券印紙貼
用第二號證書之ニ同シ
軍醫部講習生入學證書

某儀

陸軍出身志願ニ付此度軍醫部講習生官費入學御許可
相成候ニ付テハ御規則嚴重ニ相守誓テ陸軍ニ從事可
仕萬一學術不勉強又ハ品行不正等ニテ退學ヲ命セラ
レ候節ハ入學中ノ費用一切辨償可仕若本人上納難致
節ハ引受人ヨリ相納可申且本人身上之儀ハ何事ニ依
ラス身元引受人ニ於テ引受可申依テ引受人連署證書

布達類聚

百九十三

如此候也

府〔縣〕何族〔平民〕

戸主名何男〔兄〕〔弟〕〔伯〕〔叔〕〔甥〕〔附籍〕

何國何郡〔區〕何町〔村〕〔村〕〔産〕
何國何郡〔區〕何町〔村〕何番地住〔寄留〕

姓名印

身元引受人

年號月日生
年號月何年何ヶ月

府〔縣〕何族〔平民〕

東京府下何郡〔區〕何町〔村〕何番地住〔寄留〕

姓名印

全

全

年號月日

全

(軍醫本部長)

職官姓名殿

前書之通調査候處相違無之候也

府(縣)何郡(區)何町(村)戸長戸長アヲキ
ハ地ハ區長

姓名印

前書之通相違無之候也

府(縣)知事(令) 姓名印

第二號證書式

布達類聚

百九十四

軍醫部講習生入學證書

某儀

陸軍出身志願ニ付此度軍醫部講習生自費入學御許可
候付テハ御規則嚴重ニ相守誓テ陸軍ニ從事可仕且入
相成學中ノ費用ハ御規則之通上納可致若本人上納難
致節ハ引受人ヨリ相納可申其他本人身上之儀ハ何事
ニ依ラス身元引受人ニ於テ引受可申依テ引受人連署
證書如此候也

府(縣)何族(平民)

戸主名何男(兄)(弟)(伯)(叔)(甥)(籍附)

何國何郡(區)何町(村)産
何國何郡(區)何町(村)何番地住(寄留)

姓 名 印

身元引受人

年號月日生
年號月何年何ヶ月

府(縣)何族(平民)

東京府下何郡(區)何町(村)何番地住(寄留)

姓 名 印

全

全

年號月日

全

(軍醫本部長)

職官姓名殿

布達類聚

百九十五

前書之通調查候處相違無之候也

府(縣)何郡(區)何町(村)戸長戸長アツサ
ハ地ハ區長

姓 名 印

前書之通相違無之候也

府(縣)知事(令) 姓 名 印

第十六條 講習生入學ノ時第四條ノ旨趣ニ基キ左ノ如

ク誓文牒ニ署名捺印シ其志操ノ確實ヲ證セシム

誓文牒

陸軍出身出願ニ付今般軍醫部講習生入學奉願候處御
許容相成候ニ付テハ自今御規則嚴重ニ相守誓テ陸軍

從事可仕且入學中ハ家事故障ハ勿論假令病氣ト雖モ
自ラ免除ヲ請願致シ候等ノ儀ハ仕間敷候依テ誓文如
件

年號月日

姓名印

全全

乙第一百十號

明治十八年八月十八日

郡區役所

戶長役場

從來近衛兵滿期ニテ既ニ本籍地方所管ノ鎮臺豫備役又

布達類聚

百九十六

ハ後備役ニ編入シ今猶在役ノ者ハ此際更ニ近衛豫備役
又ハ後備役ニ編入替相成候條此旨相達候事
乙第一百十六號

明治十八年八月廿八日

郡區役所

戶長役場

陸軍軍人休暇規則別紙之通被相定候條此旨相達候事
但明治十四年十二月當縣乙第二百一號達同十五年三
月當縣四十六號達同附録ハ廢止ス

(別紙)

陸軍軍人休暇規則

第壹條 凡軍人歸省或ハ轉地療養其他事故アリテ休暇ヲ要スル時ハ此規則ニ據リ請願スヘシ

第貳條 准士官以上ハ往復ヲ除キ四週日以内ノ休暇ヲ請願スルヲ得但轉地療養及ヒ休暇中發病ノ者ハ延期ヲ願フコトヲ得ヘシ

第三條 將官並ニ同等官ノ休暇願ハ陸軍卿ヲ經テ太政官へ上申シ許可ヲ請フヘシ

第四條 各所管ノ長官タル上長官ノ休暇願ハ陸軍卿ノ許可ヲ請フヘシ

第五條 准士官以上ノ休暇願ハ其所管長官之ヲ許可ス

布達類聚

ヘシ但陸軍省内各局並ニ砲工兵會議出仕ノ准士官以上ノ休暇願ハ其長ヨリ陸軍卿ニ上申シ許可ヲ請フヘシ旅團長營所司令官ハ其部下准士官以上二週日以内ノ休暇願ハ之ヲ許可スヘシ

第六條 准士官以上ノ休暇願書ハ其要スル旨趣及ヒ日數ヲ記載シ差出スヘシ但轉地療養並ニ延期及ヒ休暇中發病延期ヲ願フ時ハ陸軍醫官若クハ地方醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ

第七條 下士卒父母病氣或ハ死亡等ニテ歸省ヲ願フ時ハ其情實ニ由リ往復ヲ除キ二週日以内ノ休暇ヲ許ス

ヘシ故ニ右等ノ事故ニテ休暇ヲ願フ時ハ親族ニ於テ
願書ヲ作り病氣ナレハ醫師ノ戸長戸長アサル地ハ區ノ奥書證印ヲ
受ケ本人所屬ノ隊或ハ所管ヘ差出スヘシ

第八條 隊附下士卒ノ轉地療養ハ陸軍醫官ノ診斷ニ依
リ之ヲ命スルヲ以テ本人ヨリ請願スルヲ許サス隊外
下士卒ニ在テハ陸軍醫官醫官アラサルノ診斷書ヲ添ヘ本
人ヨリ請願スル時ハ往復ヲ除キ四週日以内ノ休暇ヲ
許スコトアルヘシ若シ其日限中快復ニ至ラサル時ハ
醫師ノ診斷書ヲ添ヘ追願スヘシ

第九條 隊附下士卒ノ休暇ヲ許可スル手續ハ各兵内務

布達類聚

書中ニ記載スルカ如シト雖モ旅團附下士ニ在テハ旅
團長之ヲ許可シ隊外下士卒ニ在テハ各所管長官若ク
ハ營所司令官之ヲ許可スヘシ

第十條 下士卒休暇ノ免許ヲ得タル者ニハ左式ノ免許
證及ヒ宿泊證書ヲ與フ

六寸

寸四

兵種隊號

官(卒) 姓名

表

何日間依頼休暇免許證



聯隊長 聯隊長ヲ爲サ、
ハ其隊長
(軍用電信隊提理)

職官 姓名 印

布達類聚

百九十九

裏

此免許證ハ何年何月何日何時ヨリ何年何月何日何時マテ
休暇ヲ與フルノ證ナレハ其期限ニ至レハ必ず歸營スヘシ
休暇中ト雖モ陸軍ノ法令ヲ遵奉シ且地方ノ命令ニ服従ス
ヘシ表書官(卒)所持金若干アリ又其所持品左ノ如シ

金 何々 何々 何々
何々 何々 何々 何々

此官(卒)右之通金子並ニ諸品ヲ所持スレハ其往來途中ニ
於テ他人ノ扶助ヲ受ルコトナカルヘシ

〔中〕小隊長(聯)大(隊副官)
〔軍用電信隊長〕

年號 月日

職官 姓名 印

隊附下士卒ニ與フヘ證書式

宿泊證書

兵種隊號

官(卒) 姓 名

依願休暇ニ在テハ免許證ニ記載スル日數内ニ往復スルモノナリト雖モ迂路ヲ取
リ或ハ舟車ノ便宜ヲ慮度シ歸營延期ニ及フ者ハ嚴重ニ其處分ヲ爲スヘシ
褒賞休業中歸省或ハ他行外泊等ヲ爲ス者ニ在テハ時宜ニ依リ途上ニ滞泊シ或ハ
半途ニシテ歸營スルモ妨ケナシト雖モ舟車ノ便宜ヲ顧ミ迂路ヲ取リ期日ニ後
者ハ嚴重ニ其處分ヲ爲スヘシ

何年何月何日何地發程

何年何月何日何地發程

往

還

何月何日何地某方ニ泊ス

書法上ニ同シ

何府(縣)何郡(區)何町(村)

戶(區)長姓名印

何月何日何地某方ニ泊シ何月何日マテ病
氣或ハ何々ニ依リ滞在

右同斷

何月何日何地乘船何月何日何地上陸

何船長姓名印

布達類聚

隊外下士卒ニ與フヘ證書式

宿泊證書

所管兵種

官(卒) 姓 名

休暇ノ許可ヲ得タル者ハ免許證ニ記載スル日數内ニ往復スルモノナリ若シ迂路
ヲ取リ或ハ舟車ノ便宜ヲ顧ミ歸着ノ期ニ後ル者ハ嚴重ニ其處分ヲ爲スヘシ

何年何月何日何地發程

何年何月何日何地發程

往

還

書法上ニ同シ

休暇免許證ハ隊附ノ者ニ與フル書式ヲ示スモノト
ス故ニ隊外ノ者ニ在テモ亦之ニ準シ調製付與スヘ
シ

休暇免許證及ヒ宿泊證書ハ両面ヲ用ユル爲メ共ニ
厚紙ニテ製シ若シ宿泊證書紙幅足ラサルハ別紙
ヲ以テ補綴スヘシ

第拾壹條 下士卒休暇ノ免許ヲ得タル者ハ休暇免許證
及ヒ宿泊證書ヲ所持シ略帽衣袴及ヒ脚絆脚絆ヲ着シ若スルハ
ト着セサルトハ帶革並ニ銃劍或ハ軍刀ヲ佩ヒ且外套ヲモ
所持スヘシ

第十二條 下士卒旅行中宿泊或ハ乗船スル時ハ所在ノ
戸長或ハ船長ニ免許證ヲ示シ宿泊證書ニ捺印ヲ受ク
ヘシ若シ其途中發病川留等ニテ滯留スル時ハ戸長ヨ
リ其事由書ヲ取り或ハ醫師ノ診斷書ニ戸長ノ奥書證
印ヲ受ケ歸着ノ上之ヲ差出スヘシ

第拾三條 下士卒歸郷若クハ某地ニ滯留スル時ハ直ニ
其他ノ戸長ニ休暇免許證ヲ示シ宿泊證書ニ捺印ヲ受
ケ其宿泊證書ハ期日マテ戸長ニ預ケ置キ且地方ノ控
軍人ノ到ル間敷個所等ヲ承知スヘシ而シテ出發ノ期
ニ至レハ宿泊證書ヲ受取其發途ヲ證スル爲メ重テ

之ニ戸長ノ捺印ヲ受クヘシ且歸郷中父母病死スト雖
モ期日ニ至レハ必ス速ニ歸着スヘシ

第十四條 下士卒歸郷中本人病氣ニテ期日ニ出發シ難
ク延期ヲ要スル時ハ願書ニ陸軍醫官若クハ地方病院
醫師ノ診斷書ヲ添ヘ戸長ノ奥書證印ヲ受ケ所屬ノ隊
或ハ所管ニ送呈スヘシ若シ其地方ニ陸軍醫官若クハ
病院ナキ時ハ其治療ヲ受ケタル醫師ノ診斷書ヲ添フ
ヘシ

乙第百二十一號

明治十八年九月九日

郡區役所

布達類聚

二百一

戸長役場

軍用電信技手服役中徴兵相當ノ節ハ徴集猶豫ニ屬スル
儀ト可心得此旨相達候事

但本文ニ當ル者ハ徴兵令第三十五條ノ届書ニ辭令書
寫ヲ添ヘ爲差出徴兵事務條例第七書式其二名簿へ謄
記スヘシ

乙第百二十二號

明治十八年九月十四日

郡區役所

戸長役場

徴兵事務取調概則別冊之通相定候條此旨相達候事

徵兵取調概則

布達類聚

二五三

徵兵取調概則目錄

- 第一章 各自屆
- 第二章 下調
- 第三章 檢查準備
- 第四章 檢查
- 第五章 新兵入營前ノ扱
- 第六章 新兵入營
- 第七章 歸休返省
- 第八章 補充員並豫備徵員
- 第九章 國民兵

第十章 雜則

第十一章 附錄

徵兵取調概則

第一章 各自屆

第一條 徵兵事務條例第十六條及他ノ願書ニ添テ差出ス可キ刑名宣告書寫ハ檢事ヨリ本犯原籍地ノ戸長ヘ通知書之寫ヲ以テ代用セシムルモ妨ケナシ

第二條 徵兵事務條例第十六條第三項公使領事ノ證明書若シ其期ニ臨ミ得難キモノハ縣廳ニ於テ仮證明書下附スルヲ以テ出帆地名及船名出帆年月日ヲ詳記シ

布達類聚

縣廳ヘ出願セシメ該仮證書ヲ以テ代用セシム可シ但本證書到達ノ上ハ郡區役所ヲ經テ直ニ差出最前ノ分返納セシム可シ

第三條 徵兵事務條例第十七條誕生日不明ノ者ハ其生年ノ十二月末日ヲ以テ生日ト仮定シ取調フ可シ

第四條 徵兵事務條例第十八條本條並ニ其他ニ在ラズ三日以内ニ届出ヘントアルハ双方ニ送籍書到達ニ不關本人發着ノ日ヲ以テ起算スヘシ

第五條 徵兵事務條例第十八條ハ管内ト雖モ本條ニ據リ届出テシムヘシ

第二章 下調

第六條 徵兵事務條例第十九條ノ通り戸長ニ於テハ厚ク注意スヘキハ勿論ナリト雖モ自然各自届出ヲ怠ルモノアルハ其事由ヲ具狀スヘシ

第七條 前條ノ場合ニ在テ全戸(單身)ノ戸主逃亡シ親族等無之他ニ届出ヘキ者ナキハ戸長ニ於テ其事由届出ヘシ

第八條 徵兵事務條例第二十條第二十一條ノ書類ヘ左ノ目錄ヲ添ヘ之ヲ郡區長ヘ差出スヘシ

書類目錄

布達類聚

- 一 徵集ノ者幾百名各自届 何冊
- 一 異動徵集ノ者幾百名各自届 同
- 一 徵集猶豫ノ者幾名各自届及付屬書類 同
- 一 除役ノ者幾名各自届及附屬書類 同
- 一 人別表 何百枚
- 一 國民兵幾名入籍届 何冊
- 一 二十歳未滿ニシテ現役ニ服スル者調書 何通
- 一 何々 何冊

右之通差出候也

何郡(區)何町(村)戸長

年月日

何 某 印

郡區長宛

第九條 徵兵事務條例第二十五條ノ書類ヲ縣廳ヘ差出ス中ハ前條ニ準シタル書類目錄ヲ添付シ各自居人別表ヲ名簿ノ種類ニ區別スヘシ

第十條 徵兵事務條例第二十六條其訂正加書ニ係ルモノハ主任者必ス檢印ス可シ以下訂正加書ニ係ルモノ皆之ニ準ス但訂正加除ハ朱字ヲ用ヘシ

第十一條 徵兵事務條例第三十五條ノ戶籍照較後異動養子入籍又ハ養家ヨリ復籍或ハ徵集ヨリ籍出ルルモ、類居出ルルハ檢査前ハ

布達類聚

二百六

檢査ノハ照較スヘシト雖モ其郡區檢査後ニ係ル分ハ郡區長ニ於テ戶籍ニ照較調査ヲナスヘシ

第十二條 戶長ハ毎年八月一日ニ至レハ他管下ヨリ寄留又ハ他管下ヘ寄留ノ者アルキハ其父兄又ハ本人ヲ尋問シ寄留地ニ於テ徵集ニ應スルモノハ速ニ徵兵令第三十七條ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第三章 檢査準備

第十三條 徵兵事務條例第四十條警察署ニ於テ證認シ難キモノハ其旨(當朝ニ至リ失踪等ノ類)ヲ詳記シ事由書ニ添テ届出サシメ追テ證認書ヲ要ス可シ但從前ヨリ逃亡失踪等

ノ者ハ検査指定ノ時日凡二十日已前ニ於テ警察署ニ
届出證認書ヲ請ハシムヘシ

第十四條 徵兵事務條例第四十條留置等ノ者ニ警察署
ノ證認書ヲ要ス又處刑未決ノ者ハ検査官(遠隔ノ者ハ本署ノ
警察署又ハ分署)
ノ證明書ヲ差出サシム可シ但當日ニ至リ證認書ヲ得
カタキ者アルトキハ戸長ヨリ其事由申出可シ

第十五條 徵兵事務條例第四十條検査ヲ受ク可キ者六
傳染病ニ罹リ其届出ノ手順ヲ終リタルモノハ第五書
式ノ診斷書ニ戸長ノ證明書ヲ添へ届出サシメ而シテ
軍醫ニ於テ確實ト認ムルモノハ召喚又ハ臨檢セサル

布達類聚

コアル可

第十六條 徵兵検査ノ日時ニ近ツキ他行山稼中ノモノ
アルハ戸長ニ於テ呼戻シノ手續ヲナシ検査當日差
支サル様取計フヘシ

第十七條 徵兵令第十七條第四項及第二十二條諸項ニ
當ル癩疾不具者ハ其診斷書ニ依リ車駕ヲ用ヒ検査所
ニ出頭シ得ルト否トヲ審別シ若シ車駕ヲ用フレハ出
頭シ得ル者ナルモ爾後病勢増進シ出頭シ能ハサルハ
ハ同條例第四十條ノ手續ニ準シ更ニ診斷書ヲ添へ届
出サナサシムヘシ

第十八條 前條癡疾不具者及ヒ檢了中疾病ニ罹リ車駕ヲ用ユレハ出頭ナシ得ヘキモノニシテ出頭ナシ難キ旨申立其實否ヲサルモノ等無之様戸長郡區長ニ於テ注意スヘシ

第四章 検査

第十九條 徴兵事務條例第四十七條自覺症ヲ訴フル者ハ各自届出ノ際第二書式ニ據リ本人姓名ノ頭ニ癩癩(狂病)等ノ文字ヲ摘載ス可シ

第二十條 徴兵事務條例第四十七條狂病ノ者其病勢ニ依リ検査所ニ出頭セシムルヲ得サル者及其他自覺

布達類聚

二百八

症ヲ訴ヘタルモノ、中他ノ病氣ニ因リ出頭シ能ハサル場合ニ在テハ同例第四十條中疾病者ノ手續ニ據リ尙近隣ノ戸主二人以上ノ證書ヲモ添附セシムヘシ

第二十一條 徴兵事務條例第五十條近衛兵ハ勿論其他ノ諸兵ト雖モ品行ノ如何ヲ知ルハ軍隊ニ必要ナルヲ以テ人別表調製ノキ戸長ハ該表備考中ニ品行嚴正(正)(稍正)等ノ文字ヲ記入スヘシ

第二十二條 徴兵事務條例第四十七條ノ申告書及疾病保證書ハ第壹號其_{其二}書式ニ依リ本人若クハ戸長ヨリ醫官ニ差出スヘシ

第二十三條 戸長ハ必ス檢丁ヲ引纏メ戸籍簿ヲ携帶シ
徴兵検査所へ出頭ス可シ但人別表ニ關スル書類モ携
帶スヘシ

第二十四條 海軍兵召募達ノ有無ニ關セス例第五十一
條準備ノ爲メ例第五十六條第一項乃至第六項ニ當ル
者ハ戸長之ヲ調査シ無洩人別表備考ニ記入シ置ク可
シ

第二十五條 逃亡失踪他行出稼等ニテ検査當日參會セ
サルモノ抽籤當日迄ニ復歸セシ時ハ戸長ニ於テ復歸
届書及不參セシ事由書ヲ徴シ郡區役所ヲ經テ徴兵署

布達類聚

若クハ検査官巡回先へ差出スヘシ但正當ノ事故アル
モノハ其事由ヲ証明スルニ足ルヘキ書類出先或ハ途中ニテ
發病ノモノハ治療
醫ノ診斷書又川支專支等ノモノハ其地戸長又ハ旅宿ノ證明書又航海
中風波等ノ爲メ復歸スルヲ能ハサルモノハ船長其他ノ證明書ノ類ヲ添ヘシ
ムヘシ

第二十六條 徴兵検査ノ節逃亡失踪及他行出稼等ノモ
ノ及拘引中ノモノニシテ検査所へ參會セサルモノハ
届書ハ第二號書式ニ依リ差出サスヘシ但逃亡失踪者
ノ證認ハ所轄警察署又ハ分署ニ於テ届書二通へ證認
ヲ受ケ又拘引中ノモノハ検査官ノ證明書ヲ添付セシ
ムヘシ

第五章 新兵入營前ノ扱

第二十七條 徴兵事務條例第七十六條及ヒ第九十四條ニ示ス五日間(十日間)ニ往復スル里程ハ遠近ニ拘ラス制限ノ日數内ニ於テ往復シ得可キ所ハ許サレタルモノニ付行先ヲ詳ニシ戸長役場迄届出サスヘシ

第二十八條 徴兵事務條例第八十條ノ願書ハ縣駐在官宛ニナサシム可シ

第二十九條 徴兵事務條例第八十條最初父母ノ重病ノ爲メ十四日間ヲ許可セシ其日數内ニ於テ父母死亡シ爲メニ尙十四日以内ノ延期ヲ出願スルモ之ヲ許可ス

布達類聚

ルノ限リニ非ラス

第三十條 徴兵事務條例第八十三條事故止ミタルモノハ同例第八十二條ニ據リ取扱フ可シト雖モ現役輜重輸卒ニ在テハ一應戸長ヨリ郡區役所ヲ經テ縣廳ヘ申出何分ノ達ヲ得テ發送セシムヘシ

第三十一條 新兵入營前及ヒ補充員服役中ノ者他行セントスルハ戸長ニ於テ番號割符裏面記載ノ件遵守セシムルヲ注意スヘシ

第三十二條 抽籤後入營前人別表面ニ訂正ヲ要スヘキ異動ヲ生スルハ戸籍寫又ハ其材料トナルヘキ書類

ヲ添へ郡區役所戸長役場ヲ經テ縣廳へ届出サス可ヘシ

第六章 新兵入營

第三十三條 新兵入營ノ節ハ自己ノ衣服諸品ヲ鄉里へ送ル爲メ附添人エ依托スルニ際シ澁紙或ハ油紙等ニ包苧繩ニテ縛リ姓名縣郡町村名ヲ詳記シタル木札ヲ附シ差出サシムヘシ

第七章 歸休歸省

第三十四條 徵兵事務條例第八十五條但書ニ據リ出願スル者ノ内入營後六ヶ月ニ滿タサルモノハ戸長ニ於

布達類聚

二百十一

テ實際ノ情況ヲ精密ニ取調萬止ムヲ得サル者ノ外ハ出願セシメサル様特ニ注意スヘシ

第三十五條 徵兵事務條例第八十六條ノ願書ハ第三號

其一書式ニ依リ差出サシムヘシ

第三十六條 徵兵事務條例第八十九條本人所屬隊トハ

聯隊ヲ指ス但獨立大隊或ハ中小隊ハ該隊ヲ指スヘシ

第三十七條 徵兵事務條例第八十九條ノ願書ハ第四號

其二書式ニ依リ差出サシム可シ

第八章 補充并豫備徵員

第三十八條 徵兵事務條例第九十四條十日以上ハ制限

ナント雖も毎年十月ハ補充員入營ノ期節ナルヲ以テ
輜重輸卒ヲ除クノ外在郷セルムルヲ要ス故ニ其旅行
等ヲ出願スル日數ハ長キモ九月三十日ヲ限ル可キ旨
ヲ豫テ該員一般へ郡區長戸長ニ於テ諭告シ置ク可シ
但入營ノ期ヲ過キ達シナキモノハ再ヒ出願スルモ妨
ケナカルヘシ

第三十九條 徵兵事務條例第九十四條補充員服役中ハ
新タニ官吏教員等ニ採用スルヲ得スト雖モ徵兵相當
以前ヨリ勤續ノモノニシテ召集等ニ差支ナキモノハ
其儘勤續セルムルモ妨ケナレ但其廳名校名官等ヲ詳

布達類聚

記シ戸長與書證印ノ上郡區役所ヲ經テ郡區駐在官へ
届出サシムヘシ

第四十條 徵兵事務條例第九十四條補充員入營ニ際シ
擅ニ旅行等ノ爲メ入營セサルモノハ翌年四月十九日
ヲ限リトシ其以前復販スル者ハ速ニ郡區役所ヲ經テ
縣廳へ届出ヘシ尤該告發ハ本人復歸ヲ待タス其手續
ヲ爲ス可シ

第四十一條 徵兵事務條例第九十六條在郷現役輜重輸
卒ノ身上異動届及ヒ諸願等他ニ明文ナキモノハ本條
ニ據リ届出サス可シ但宛名ハ郡區駐在官トス

第四十二條 徵兵事務條例第九十七條一縣内ト雖モ郡區駐在官ノ所管ヲ異ニスルモノハ本條ノ例ニ準シ取扱可シ

第四十三條 補充員ニシテ甲府縣ヨリ乙府縣ニ轉籍又ハ全戸寄留スル者ハ同例第八十四條ノ例ニ據ル可シト雖トモ現役及ヒ補充員當籤ノ者單身寄留ハ許サス但本縣管内ハ之ヲ許ス可シ

第四十四條 徵兵事務條例第九十九條第一豫備徵員他府縣へ轉籍又ハ全戸寄留ノ者モ本條ニ據リ届出サスヘシ

布類 達聚

第九章 國民兵

第四十五條 徵兵事務條例第七十三條國民兵異動届ハ徵兵適齡届ヲ爲シタル其年九月十五日ヲ以テ分界トシ同日以後ハ該異動届書差出サシムルニ及ハス

第十章 雜則

第四十六條 徵兵事務條例第二百一十一條本令第十條ノ志願者ハ兵種ヲ希望スルヲ得ルモ陸軍ニ於テハ五種兵ニ限ルモノトス但同條例第二百二十二條ノ志願者ハ雜卒ト雖モ希望スルヲ得可ク事務手續第十九項ノ志願者ニ在テハ身幹職業ニ從ヒ其五尺三寸以下ノモノ

ハ雜卒ヲ希望スルヲ得ヘレ

第四十七條 徵兵事務條例第二百一十一條第二百二十二條ノ志願者ニシテ寄留地ニ於テ徵集ニ應セント欲スルモノハ其地在籍者ヲ證人トナシ寄留地郡區長戸長ノ奧書證印ヲ以テ徵兵検査所ニ出願シ其旨本籍戸長ヘ届出サスヘシ

第四十八條 徵兵事務條例第二百二十六條ニ當ル情願者ハ第五號書式ノ願書ニ戸長ノ奧書證印ヲ受ケ郡區長ヲ經テ検査當日差出サスヘシ但兄弟ノ内壹人先入兵ナルキハ情願スルノ限リニアラス又弟ノ猶豫ヲ請ン

布達類聚

ト欲スルモノハ情願スルニ及ハス

第四十九條 前條ノモノ他府縣ニ寄留シ該地ニ於テ検査ヲ受ケント欲スルキハ其地在籍ノ戸主ヲ以テ證人トナシ第六號書式其一ニ依リ寄留地戸長ニ願出同號其二書式ニ依リ本籍戸長ニ届出サスヘシ但寄留地戸長ハ郡區長ノ認可ヲ得テ願意ヲ許可スヘシ又本籍戸長ハ届書ニ人別表ヲ添ヘ郡區長ヘ差出シ郡區長ハ寄留地郡區長ヘ送付スヘシ

第五十條 徵兵事務條例第三百三十四條學校長ヲ置カサル所ハ戸長ヨリ通牒ス可シ

第五十一條 徵兵事務條例第三百三十六條準官吏ハ奏任御用掛以下皆含有スヘシ

第十一章 附錄

第五十二條 豫備後備兵服役ノ者刑期中ノ日數ハ服役年期ニ算入セサルヲ以テ郡區長戸長ニ於テ該兵身上異動届出等ニ際シ一層注意スヘシ

第五十三條 在郷諸兵點呼ノ節ハ戸長臨場シテ諸事不都合無之様注意ス可シ

第五十四條 在郷諸兵養子送籍又ハ離縁復籍等戸籍ヲ異ニスル者ハ必ス新戸籍寫ヲ第七號書式届書ニ添付

布達類聚

二百十五

シ差出サシムヘシ

第五十五條 在郷諸兵轉入籍ノ者ハ到着三日以内ニ必ス届出サスヘシ

第五十六條 在郷諸兵願届ニ添テ差出戸籍寫ハ戸長必ス記名檢印スヘシ

第五十七條 在郷諸兵願届ノ書体ハ成ルヘク正格ニ認メ差出サシムヘシ

第五十八條 抽籤後裁判確定ノ上先入兵ノ處分ヲ爲ス可キモノハ左ノ項目ヲ戸長ヨリ郡區役所ヲ經テ縣廳ヘ届出ヘシ

(一) 宣告月日

(二) 法 衙

(三) 刑

名

(四) 郡區町村名

(五) 兵種番號

(六) 姓

名

第五十九條 現役補充豫備兵服役中身上異動ヲ生シ人別表中訂正ヲ加フヘキ要件ハ洩ナク届書ニ記載シ戸長ヘ差出シ戸長ハ之ニ奥書證印シ郡區駐在官ヘ差出サス可シ但本文届出ノ上ハ其事由ヲ詳記シ郡區役所ヲ經テ縣廳ヘモ届出サス可シ

第六十條 人別表及國民兵名簿用紙ハ豫算ヲ以テ郡區役所ヨリ兵事課ヘ請求スヘシ

第六十一條 徵兵事務條例第一書式職業ハ本人並ニ戸

布達類聚

主各自ノ職業ヲ記シ又職業ナキモノハ無職業ト記スヘシ以下之ニ準ス但本人ノ兼職ニシテ徵兵表其四及左ノ件々ハ洩ナク記載スヘシ

- 井戸堀工 革工 瓦工 畫工 寫真師 硝子工 揚火師 版木
- 職 彫刻職 塗物職 時計師 電氣職 表具師 染物職 紙漉
- 職 馭者 僧侶 筆工 理髮職 鑄懸職 雜業 電信工夫 鑄
- 物師 活版職 疊職 陶器職 金物職 磁器職 佛檀職 蒔繪
- 職 沈金職 無職業

第六十二條 前條同書式中地番號ト邸番號トヲ異ニスルモノハ邸番號ヲ記スヘシ以下之ニ準スヘシ

第六十三條 徵兵事務條例第六書式ニ係ル記載方ハ別紙記載法ニ據ルヘシ

第六十四條 徵兵事務條例第五書式ノ醫師診斷書ハ府縣立病院長主任ナルキハ奥書ヲ要セス又内務省免許醫ニシテ奥書證印ヲナスキハ肩書住所ノ下ニ内務省免許醫ト記セシム可シ但明治十七年内務省乙第四號達ニ依リ下附ノ免狀所持醫ハ奥書ヲナスヲ得ス

第一號書式 其一
疾病申告書

郡(區)町(村)番邸

市達類聚

二百十七

某幾男或ハ何々

姓名

年月日生

右之者生來何症(何年頃ヨリ何病)ニ罹リ候間別紙近隣保證書相添此段上申致候也

右某(父(母)兄(弟)) 戶主

姓名印

年月日

何府(縣)

徵兵署

御 中

第一號書式 其二

疾病保證書

郡(區)町(村)番邸
某幾男或ハ何々

姓名

年月日生

右之者生來白痴(夜盲)(聾)(啞)ニシテ(何年頃ヨリ癩癩瘋癩(遺尿病ニ罹リ)申立之通相違無之私共近隣ニ在リテ平素熟知罷在候依テ保證致候也

郡(區)町(村)番邸戶主

布達類聚

年月日

姓名印

.....

姓名印

何府(縣)

徵兵署

御中

第二號書式

不參御届

郡(區)町(村)番邸族職業
某幾男或ハ何々

年月日逃亡(失踪)未復歸
年月日何地へ他行呼戻中ノ處未復歸
年月日何地何某方へ出稼呼戻中ノ處未復歸
犯罪ノ處有之年月日ヨリ何々へ拘留

姓 名

年月日生

右頭書之通ニ付御檢査場ニ不參仕候此段御届申候也

郡(區)町(村)番邸

戸主或ハ親族

姓 名 印

年月日

何府(縣)

徵兵署

御 中

前書ノ通相違無之候也

布達類聚

戸長

姓 名 印

第三號書式 其一

歸休願

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)何番邸
士族(平民)某何男(弟等)

當時何鎮臺(營所)何兵第何番第何聯隊

何大隊何中隊何等卒

姓 名

年月日生

何年何兵第何番

右之者何年徵兵ニシテ入營服務罷在候處父(母)或ハ(戶主)死亡(廢疾不具トナ)別番診書之通廢疾ト相成(重罪ノ刑ニ處セ)別紙宣告書之通處刑相成)本人ヲ要セサレハ一家之生計ヲ營ムト能ハス候ニ付特別之御詮議ヲ以テ本人歸休被成下度別紙(宣告書寫或ハ醫師診斷書)戶籍寫及保證書相添此段奉願候也

何府縣何郡區何町(村)士族(平民)

右兄(親戚)

年月日

姓名印

近衛(鎮守府)(何鎮台)

布達類聚

二百二十

御中

前書之通申出候ニ付取調候處相違無之候也

右町(村)戶長

姓名印

前書之通相違無之候也

郡(區)長

姓名印

第三號書式 其二

保證書

郡(區)町(村)番邸

某長男或ハ何々

何年何兵第何百何十番

姓 名 年月日生

右之者父(兄)癡疾(不具)ニテ一家ノ生計難相立ニ付歸休願出候處相違無御座候間依テ保證致候也

何郡區町村番邸戶主

年月日

何年現役何兵第何番某父(兄)

姓 名 印

第四號書式

其一

.....印

歸省願

布達類聚

二百二十一

何府(縣)何國何郡(區)何町(村)何番邸

士族(平民)某何男(何々)

當時何鎮臺(營所)(近衛)海軍水兵火夫何兵

第何番第何聯隊何大隊何中隊何等卒

何年何兵第何番

姓 名

年月日生

右之者私何男(何々)過ル明治何年徵兵ニテ入營即今何鎮臺(何營所)(近衛)(鎮守府)ニ服務罷在候處父(母)某何々病ニ罹リ目下危篤ニ相逼(以上患者ノ現況ヲ詳記スヘ)就テハ爲看護一時御成規内ノ歸省御差許被下度別紙醫師診斷書相添此段

奉願候也

年月日

何府(縣)何郡(區)何町(村)番邸士族(平民)
右兄(親戚) 姓 名 印

何鎮台(營所)(近衛)何兵第何聯隊(鎮守府)

御 中

前書之通申出候ニ付取調候處相違無之候也

右町(村)戸長

姓 名 印

第四號書式 其二

歸省中發病ニ付歸營延期願

布達類聚

二百二十二

何府(縣)何郡(區)何町(村)何番邸士族(平民)

隊號官等(本人所屬聯隊或大隊中隊等又ハ官等トハ曹長軍曹五長兵卒ノ類)

姓 名

今度父(母何々)爲看病歸省被差許(或ハ養實等)歸宅罷在候處
過日來何病ニ罹リ(病)何々甚敷(苦惱)醫師診斷ヲ乞ヒ療
養致來候處休暇日數モ既ニ相滿來ル何日歸營當日ニ候
得共先陳之如ク歸營難致候間引續何週間延期御差許被
下度此段診斷書相添奉願候也

隊 號

年月日

官 姓 名 印

何鎮台(警所)(近衛)(河兵第何隊)(鎮守府)

御 中

前書之通申出候ニ付取調候處相違無之候也

右町(村)戸長

姓 名 印

前書之通相違無之候也

郡(區)長

姓 名 印

第五號書式 情願書

郡(區)町(村)番邸

布達類聚

二百二十三

某長男

姓 名

年月日生

二男

姓 名

年月日生

右之者共同時徴集相成兩人トモ検査合格相成候ニ付テ
ハ弟某ヲ御徴集相成兄某御猶豫相成度此段奉願候也

郡(區)町(村)番邸

戸 主

年月日

姓 名 印

何府(縣)

徵兵署

御 中

前書之通相達無之候也

右町(村)戸長

姓 名 印

第六號書式 其一

兄弟同時徵集者寄留地檢査願

何府(縣)何郡(區)何町(村)何番邸

布達 願 聚

二百二十四

某何男(或弟等)

目今何府(縣)何郡(區)何町(村)何番邸寄留

姓 名

年月日生

私儀何年徵兵ニテ兄(弟)某ト同時徵集可應者ニ候處目今
當地ニ寄留罷在候ニ付御(府)縣御檢査所ニ於テ御檢査相
受度此段奉願候也

何府(縣)何郡(區)何町(村)番邸仁某何男
(弟)等

何府(縣)何郡(區)何町(村)番邸寄留

年月日

姓名

何府(縣)何郡(區)何町(村)番邸住戶主

保證人

姓名

何郡(區)何町(村)戶長

姓名 殿

第六號書式 其二

兄弟同時徵集者寄留地檢査届

何府(縣)何郡(區)何町(村)何番邸

某何男(或ハ弟等)

姓名

布達類聚

二百二十五

年月日生

私儀何年徵兵ニテ兄(弟)何某ト同時徵集ニ應ズヘキ者ニ候處現今何府(縣)何郡(區)何町(村)何番地ニ寄留罷在候ニ付寄留地ニ於テ檢査相受度旨出願致候間此段及御届候也

何府(縣)何郡(區)何町(村)何番邸住

某何男(或弟等)

何府(縣)何郡(區)何町(村)番邸寄留

姓名印

年月日

戶長

第七號書式

姓名殿

府縣郡區町村番邸

平民士族某養嗣子

何年何兵第何番

姓名

年月日生

右之者本月何日私弟ニ離縁復籍候ニ付戸籍寫相添へ此段御届申候也

右戸主

姓名印

年月日

布達類聚

郡區駐在官姓名殿

前書之通相違無之候也

右戸長

姓名印

此書式ハ一例ヲ示シタルモノナレハ實際ニ就キ事由詳記スヘシ

徴兵事務條例第六書式人別表記載法

産所住所

普通之例

愛知縣

尾張國名古屋區何町産
同國何區何町何番邸住

註 番地ト番邸トハ各府縣各制ヲ異ニスルヲ以テ其地番号トニ論ナク該縣定ムル所ニ據各自表札ニ記シテ郵便配達等ヲ受クルニ差岡ナキ者ヲ記ス

本人ト父兄トノ區別ナシ戸籍面ニ存スル職業ヲ記スルカ故ニ尋問ノ際相違訂正
 スル者甚多シ不調ト云フヘレ元來父兄ノ職業ヲ戸籍ニ記入シアル者ナレハ夫
 以テ直ニ本人ノ職業トスヘキ理ナレ故ニ父兄ノ職業區畫ト本人ノ職業區畫ト分
 ナアル者少シク注意セハ疑ノ入ルヘキ所ナキ者ナリ故ニ本人ノ職業ヲ記入ス
 ルハ必ス常該人及其父兄ニ就テ質問スルヲ要ス○婦人ノ職業ハ戸主ニアラザ
 レハ記載ニ不及○僧侶ハ直ニ職業ノ部ニ記シカラス他ニ職ナキ者ナレハ無職業ト記スヘレ
 備考中ニ記シテ職業ノ部ニ記スヘカラス但シ官吏ニアラサルハ無職業ト記スヘレ
 而シテ備考前等中ニ記載ヲ漏ルヘカラス但シ官吏ニアラサルハ無職業ト記スヘレ
 師等ノ類ハ皆職業ノ部ニ入ルヘシ○父兄ハ兼業ヲ記載ニ不及○職業ノ誤謬ヲ訂
 正スル事アルカ故ニ下方ニハ必ス七八分ノ余白ヲ存シ置クヘレ

姓名ノ肩書

普通之例 戸主 某長次男(養嗣子)(兄)(弟)(伯)(叔)(父)(甥)
 附籍者及同居者ノ例

- 其一 何ノ乙次郎長男(次男)(養嗣子)(兄弟伯叔甥)
- 何ノ甲太郎附籍(同居)

布達類聚

- 其二 何ノ甲太郎附籍(同居)戸主
- 其三 何ノ甲太郎附籍乙次郎長(次)男(養嗣子)(養子)

(兄弟叔伯)父某

註 普通ノ例ハ記載ノ通別ニ解説ヲ要スル件ナシ附籍同居ノ例其一ハ單身附籍ニシ
 テ戸主ニアラザル者其二ハ戸主ニシテ他人ノ附籍トナル者其三ハ全戸舉テ他人
 ノ附籍トナリ居ル者ヲ示スナリ蓋各項置者ト破置者ト各轉倒シテ書スル者ハ己
 ヲ得サルニ依ル依ハ若其一ヲ其二ニ做ヒ冒頭ニ甲太郎附籍乙次郎長男云ト
 セハ乙次郎モ共ニ甲太郎ノ附籍ノ如クナリテ其三ト同一ニ誤解スヘク又其二ヲ
 シテ其一ニ做ハシメハ戸主甲太郎附籍トセハ戸主タル甲太郎ノ附籍ニテ本人ハ
 戸主ニアラザルカ如ク解スルニ至ルヘシ其三又然リ故ニ各之ヲ轉倒シテ一曰解
 シ易カラシムル者ナリ能ク注意シテ記載スヘレ

姓名記載

註 姓名ヲ記載スルハ其父兄タリ本人タル中間ハ必ス戸籍ト同一ノ文字ヲ用ユヘ
 キ等ナレニ往々違ヘル者多シトモ深ク注意アル可レ就中次(二)治(郎)長(三)朝
 藏(造)(三)重(十)助(介)輔(亮)等ノ類最モ然リトナス○婦人ノ名ヲ假名ニテ
 顯スルハ魁メテ判然紛レナキ平假名ヲ用ユヘシ往々讀難キ者或ハ甲乙何レノ字

ナルヤ判然シ難キ者アリ注意スルヲ要ス(可成片假名ヲ用ユ可カラス)

祖父母ノ記載

養子ヲ除クノ外ハ父祖繼統ト絶家再興ト分家トニ論ナク皆生家ノ實祖父母ヲ記入シ分家若クハ絶家再興ノ者ハ必ス其肩ニ(生家ト記スヘレ但生死ノ區別ナク皆記入スヘレ)○養子ハ必ス養祖父母ヲ記ス(生死ヲ不問)但レ自己ノ養子トナリテ入家ノ後其祖父母死亡シ繼祖父母ヲ迎ヘタル者ハ前亡祖父母ヲ記入スヘレ○實養ニ論ナク其祖父母分家シテ別居スル者ハ肩ニ分家ノ二字ヲ付シテ生死ヲ問ハス記載スヘレ○養子ニシテ離縁ノ祖父母ナレハ記載セズ備考前書中ニ(母)離縁ニ付無之ト記入スヘレ養子ニシテ始メヨリ祖父母ナキ者或ハ實子ニシテ事故アリ祖父母不明ノ者ハ必ス其理由ヲ備考前書中ニ「何ヤニ依リ祖父母不詳」ト記入スヘレ○此他父母ノ例ヲ参照スヘレ

實父母ノ記載

凡ソ實父母ハ其實子養子分家絶家再興等ノ如何ニ論ナク其父母ノ存亡離縁公私生等ノ別ナク悉皆之ヲシ揚クル者トス而シテ離縁ノ者ハ肩ニ離縁ノ二字ヲ付私生ノ父「母」ハ備考前書中ニ「生(父母)某ハ私生ノ親ニシテ結婚者ニ無之ヲ以テ同籍アラフ」ト記入スヘレ○私生ニシテ生父母不明ノ者モ祖父母ノ例ト同斷不明ノ事故ヲ備考前書中ニ記入スヘレ○實父母ノ内分家スル者アレハ肩ニ分家ト記シ其他同戸籍内ニアラサル者ハ總テ其理由ヲ備考前書中ニ記入スヘレ○實父

布達類聚

二百二十九

母離縁死亡后ノ繼父母ハ總テ記載セズ必前ノ實父母ヲ記スル者トス

養父母ノ記載

養父母ハ實父母ト異ナリ悉ク掲クル者ニアラス凡ソ左ノ區別ニ依テ記載スヘレ○養子トナリタル前後ニ不係離縁トナリタル養父母ハ記載セズ○入家以前其父母死亡シト雖モ爾後父(母)ヲ迎サル者ハ其亡養父(母)ヲ記シ若シ入家ノ際繼父(母)已ニ現在シテ其者ノ養子トナリテ入家スル者ハ前亡父(母)ニ關係ナク現在ノ養父母ヲ記入スヘレ○入家後養父(母)死亡シ其忌服ヲ受ケル後更ニ迎ヘタル養父(母)ハ記載セズ必ス前養父(母)ヲ記入スヘレ○入家ノ後離縁ノ跡ニ迎ヘタル養父(母)ハ必ス現在ノ者ヲ記スヘレ○養父(母)ナキ者ハ悉ク備考前書中ニ其理由ヲ記スヘレ○入家前(後)離縁ニ付養父(母)ナレハ養父未結婚ニ付養母ナシ者アリ之等ハ實養父區畫ニ同様に記載シ備考前書中ニ其理由ヲ記入スヘレ○實養父(母)同令ハ「實父(母)某生家離縁ノ後更ニ養家ニ入婚(入嫁)シタルヲ以テ實養共ニ同レ」等ノ如シ但シ此キハ必ス實家ノ父(母)ノ肩ニ離縁ノ二字ヲ加フヘレ○養父(母)分家スル者ハ其肩ニ分家ト記スヘレ

祖父母以下一般記載ノ注意

實養祖父母父母共ニ死亡ノ者ハ必ス姓名ノ下ニ亡ノ一字ヲ付シ誕生年齢ノ兩區畫ヘハ○ヲ付ス誕生年齢不明ナル者ハ同區畫中ニ其理由ヲ略記ス候令ハ

愛知縣

尺身
度幹

何々

番兵
號種

名 姓

何 某

祖 父

平民農

何 某

何ノ何年月日

何十何年何ヶ月

誕生
何年何月何日

祖 母

某

除籍ニ付不詳

同 上

氏 神

父

私生
所在不詳

同 上

宗 門

布 達 類 聚

二百三十

徵 兵 入 別 表

養 父
養 母
妻
嗣 子
兄 弟
姉 妹
女 子

何 某 亡

某

離 縁 ノ 后 所 在
不 明 ニ 付 不 詳

同 上

備 考

妻ノ記載

死亡ノ者ハ族籍職業ヲ記スヘカラス

註

此區畫ニハ往々縁女ヲ記スル者アレ共之ハ記載ニ不及只結婚濟ノ者ニ限ルヘシ
且ツ死亡ノ者ハ結婚濟ノ者ト雖モ記載セス

嗣子ノ記載

註 此區畫ハ嗣子ト定メタル者ナレハ仮令庶子ト雖モ記載スヘシ但正服ノ長男ナク庶子アル者ト雖モ嗣子ト定ムルノ許可ヲ得テ戸籍上嗣子ト公認スル者ニ限ル其
他女子ハ長女ニシテ他ニ男子ナキモ愛ニ記入セス

兄弟姊妹ノ記載

註 此區中ニハ同戸籍中ニ在ル實兄弟(異父(母)兄弟モ含有ス)ノ外ハ記載ニ及ハス
故ニ養嗣子ノ如キハ實養兄弟共ニ記載セサル者ト知ルヘシ○義兄弟ト稱スル者
ハ一切記載ニ及ハス(養家)ノ兄弟姊妹ハ義兄弟ナリ

男女子ノ記載

註 同戸籍ニアル實養子ヲ記スヘシ但實子ト雖モ異籍ノ者ハ記入セス庶子ハ肩ニ庶
子ノ二字ヲ付スヘシ

年齢

註 本人徵集ニ應スヘキ年ノ一月ヲ以テ計算スヘシ

布達類聚

氏神宗門

註 此兩區畫ハ當分記載ニ及ハス

備考前畫ノ記載

註 此前畫ニ記載スヘキ種類左ノ如シ
(一)所刑有無(二)家屋有無(三)地租ノ有無(四)條例五十六條ノ諸項ニ當ル者
(五)品行(六)讀算有無(七)教員官吏議員等ノ類(八)祖父母父母ノ事故
(一)刑罰ナキ者ハ「曾テ刑罰ヲ受ケシ事ナシ」ト記シ刑罰アル者ハ「何年何月何
日強(竊)盜(詐)取財(徵兵規避)(賭博)犯ニ依リ輕(重)禁錮何月監視何月
ニ所セラル」ト記スヘシ(違警罪ハ記載ニ及ハス)(二)(三)家屋ト地租トハ
其父(隱居)タリ戸主タリ本ハタルヲ問ハス苟モ其家ニ屬スル家屋及地租ハ
悉皆之ヲ區別シ記入スヘシ(仮令ハ
戸主家屋ヲ有ス
戸主(隱居)父地租何圓何錢何厘ヲ納ム 又ハ 本人家屋ヲ有ス
戸主(隱居)(祖父)家屋ヲ有ス
又ハ 本人地租何圓何錢ヲ納ム 戸主(隱居)等ノ如シテ概シ之ヲ云ヘ
ハ 本人家督ノ後未タ家屋地租等ノ名義付替ヲナ
サス隱居(父)ノ所有タルモノハ皆之ヲ記ス

次男以下其家ニ附屬セサル家屋及地租等ハ記載ニ及ハス○家屋地租共無之者ハ「家屋」○「地租」ト記シテ其無キ事ヲ証スヘシ

(四)此諸項ニ該シ者ハ現職ト會テ學ヒタルト問ハス曾記入スヘシ(仮令ハ「曾テ航海」ト業トス)現今「曾テ」機關學ニ從事ス「卒業」スニ現今「曾テ」西洋形船舶ニ乗組ノ者ニ現今「曾テ」何所涼車或ハ製造所ニ從事スニ何所造船所何職ニ涼船何號欄關手(火夫)日本形五百石以上ノ船舶ニ乗組ノ者ニ日本形五百石以下船舶乗組ノ者等ノ如シ余ハ實際ニ就テ之ヲ記入スヘシ

(五)此項ニハ「品行嚴正(正)」「稱正」等ノ文字ヲ用ユ但シ保証シ難キ者ハ書キ入レサル乎若クハ付箋ニテ品行トナシ置クヘシ

(六)愛コハ「小學下(中)」「高等卒業」讀書(讀券)ヲ能クス「稱讀券アリ」普通、讀書アリ「少シク」讀券アリト記シテ短簡ノ書翰ヲモ讀ム事不能者ハ讀書(券)ト記ス

(七)(中)(小)(師範)學校教員(助教)「何省(府縣)」「何々官奉職」何府縣會議長(員)等ト記載スヘシ

(八)祖父母ノ條ニ解說スルヲ以テ愛ニ贅セス

備考ノ後畫ハ徵兵事務官檢査ノ后記入スヘキ區畫タルヲ以テ郡衙以下ニ於テハ愛ニ記入スヘカラス

一般ノ注意

人別表檢査表ヲ記載スルハ必ス陸書體ヲ用ヒ如何ナル所ニテモ草書體ヲ用ユヘカラス同表中何等ノ事故ヲ記スルニモ附箋ヲ用ユヘカラス但一時ノ覺

布達類聚

二百三十二

〜若クハ事務ノ注意マテニ記載シ置キ其事止ムニ隨テ除脱スヘキ者ハ此限ニアラス○若訂正ヲ加フヘキ所アレハ其文字ニ朱ノ二線ヲ引傍ニ朱字ニテ記載シ主任者見認印ヲ捺シ置クヘシ○十二書式ノ檢査表ニ記スル住所族職業姓名等皆人別表ニ同シキヲ以テ愛ニ贅セス

乙第百二十三號

明治十八年九月十一日

郡區役所

戶長役場

明治十七年六月當縣乙第百十號達徵兵相當ニレテ失踪逃亡者取扱手續左ノ通り更正候條此旨相達候事

失踪逃亡者取扱手續

第一條 徵兵適齡ニシテ失踪逃亡セシ者アルハ戶長ニ於テ其父兄或ハ親戚等ニ就キ其事故ヲ取糺シ郡區

役所ヲ經由シ縣廳ヘ具申スヘシ

第二條 縣廳ニ於テハ失踪逃亡者ノ族藉姓名職業等ヲ
詳記シ之ヲ管下各警察署分署ヘ告知シ及ヒ第三軍管
聯合諸縣ヘモ通知スヘシ

第三條 原籍戸長ニ在テハ時々失踪逃亡者ノ家ニ就キ
本人復皈シタルヤ否ヤヲ推問シ若シ復皈(飯村(町)屈ハ成
規ノ通り郡區役
所ヲ經テ
差出ヘシ)シタルニ於テハ失踪逃亡ノ事由取糺シ正當ノ
故ナク検査場ニ參會セサル者ハ徵兵規避ノ情有ト否
トヲ問ハズ徵兵令第四十四條及同事務條例第一百五十
一條ニ依リ告發ノ手續ヲ爲シ其旨所轄警察署又ハ分

布 達 類 聚

二百三十三

署ヘ通報スヘシ

但其實實確認シカタキモノハ郡區長ヘ稟議スルヲ
得ヘシ

第四條 各警察署分署ニ於テハ探偵ノ上所在發見シタ
ルキハ引致之上失踪逃亡ノ事由ヲ糺明シ正當ノ故ナ
ク検査場ニ參會セサル者ハ徵兵規避ノ情有ト否トヲ
問ハズ徵兵令第四十四條及ヒ同事務條例第一百五十一
條ニ照シ直ニ告發シ其旨縣廳兵事課ヘ通知スヘシ
但他管下ノ者モ本文之通リ告發シ其旨本縣兵事課
ヘ通知スヘシ全課ニ於テハ原籍ノ各縣ヘ通知ノ手

續ヲ爲スヘシ

第五條 縣廳ニ於テハ聯合諸縣ヨリ失踪逃亡者ノ報告

ヲ得タルモハ直ニ各警察署分署ヘ告知スルヲ以テ全署ニ於テハ之ヲ搜索スヘシ

乙第百二十九號

明治十八年九月廿六日

郡區役所

戶長役場

飯休兵及豫備後備兵其他軍籍ニ在ル者郷里ニ於テ罪ヲ犯シ(賭博犯モ)處分ヲ受ケタル者アルモハ徵兵年度兵種番號ヲ詳記シ本犯原籍地ノ戶長ヘ通知書ノ寫ヲ添ヘ戶長

布達類聚

二百三十四

役場郡區役所ヲ經テ縣廳ヘ届出サス可シ此旨相達候事

但飯休兵並ニ豫備後備兵ニ在テハ本文ノ外後備軍司令部條例第二十條ニ據リ郡區駐在官ヲ經テ后備軍司令官ヘモ届出サスヘシ

乙第百三十號

明治十八年九月廿六日

郡區役所

戶長役場

明治十五年四月當縣乙第六十七號同十八年五月同第五十五號達取消候條此旨相達候事

乙第百三十一號

明治十八年九月廿六日

郡區役所
戸長役場

陸軍教導團軍樂隊規則別紙之通被相定候條此旨相達候事

(別紙)

教導團軍樂隊規則

第壹章 總則

第壹條 教導團ニ軍樂隊ヲ置キ之ヲ軍樂基本隊トナシ
軍樂一般ノ學術ヲ講究シ樂譜ノ音調ヲ齊一ナラシム
第貳條 軍樂隊ノ編制左ノ如シ

布達類聚

二百三十五

軍樂隊長 一(二)等軍樂長一名

軍樂隊次長 軍樂次長一名

一等軍樂手 三名

二等軍樂手 六名

樂手補 二十七名

樂生 十二名

但一二等軍樂手定員ハ此ノ如ク各之ヲ定ムルト雖
モ基本隊ニ在テハ教授ノ事ヲ負擔セシムルヲ以テ
實際ノ都合ニヨリ一二等軍樂手ヲ通シ貳十名ニ至
ル迄ハ定員ヲ超過シ附隊セシムルコトヲ得

第三條 軍樂隊ニハ會計書記三等看護長各壹名看護卒
貳名ヲ附屬セシム

第四條 軍樂隊ニハ醫官ハ別ニ附屬セサルヲ以テ病院
又ハ各生徒隊附醫官ノ内壹名ヲ以テ該隊衛生攝養ノ
事ヲ兼掌セシム

第五條 軍樂隊ノ日課及ヒ教育ノ方法等ハ團長ノ許可
ヲ得テ隊長之ヲ施行シ而シテ營内ノ諸務及ヒ其他ノ
諸規則ハ概テ各兵隊ニ異ナルコトナシ

第六條 軍樂隊ニハ一等軍樂手壹名二等軍樂手貳名樂
手補三名宛輪次ニ週番ヲ爲シ隊中諸般ノ庶務ヲ辨理

布達類聚

シ樂器其他諸物品ノ格護樂生ノ監視等ヲ分任ス

第七條 軍樂次長以下服役年限ハ樂手補ヲ命スルノ日
ヨリ十二箇年トス其九箇年ハ常備役現役七箇年
備役二箇年ニ服シ

後三箇年ハ後備役ニ服セシム而シテ現役滿期ノ後尙
ホ現役ニ服セント欲スル者ハ詮議ノ上三箇年間再服
役スルヲ許ス其服役ノ法ハ陸軍下士服役規則ニ從フ

第八條 樂手補服役中品行不正勤務不勉或ハ軍紀ヲ遵
守セス又ハ屢々法則ヲ犯シ本隊ノ風紀ニ關スル者ハ
軍樂隊ヲ除キ鎮臺ノ歩兵隊ニ送附シ歩兵卒或ハ喇叭
卒トナシ定規ノ服役年限ヲ帶ハシム

第九條 軍樂次長以下ハ常ニ屯營内ニ在ルヲ法トス然
レモ樂手補トナリシ後勤務勉勵品行方正技術ニ熟達
シ滿三年以上勤續セシ者ハ詮議ノ上外宿ヲ許スコト
アルヘシ然ル時ハ其給與ハ隊外下士卒給與ノ規則ニ
從フヘシ但外宿ヲ許シタル者若シ勤務ヲ怠リ或ハ不
品行ノ所爲等アリテ嚴ニ教戒ヲ要スル者ハ再ヒ在營
ヲ命スルモノトス

第十條 外宿ニ在ル者ハ日々定時限ニ出營シ勤務ニ服
スルモノトス故ニ病氣ト雖モ必ス一旦出營シ本隊軍
醫ノ診斷ヲ受クヘシ但若シ急病ナルカ又ハ出營シ難

布達類聚

二百三十七

キ病症ナルトキハ地方醫師ノ診斷ヲ受ケ其診斷書ヲ
以テ本隊ニ届出其處分ヲ受クヘシ

第十條 樂器ハ妄リニ營外ニ出スヲ禁ス故ニ外宿ニ
在ル者ト雖モ自己ノ宿舍ニ携歸スルコトヲ許サス

第十條 在營ノ軍樂次長以下勤務勉勵行狀方正學術
熟達ニシテ二百五十日以上皆勤セシ者ニハ褒賞休業
ヲ與フルモノトス而シテ其方法ハ各兵內務書ニ載ス
ル所ノ規則ニ從フヘシ

第十條 軍樂次長以下品行方正勤務勉勵ニシテ技術
優等ナル者ハ服役一箇年以上ヲ經過セシ後技術加俸

ヲ與フ此場合ニ在テハ軍樂隊長其履歷成績ヲ團長ニ具狀シ團長之ヲ審査シテ許否スヘシ但此加俸ヲ與ヘシ後品行不正ノ所爲アリ又ハ勤務不勉技術退步等ノ者ハ其加俸ヲ止ムルコトアルヘシ

第十四條 軍人其他官民ヨリ慶賀祭典等ニ依リ軍樂隊ヲ請求シ奏樂ヲ請フ者アル時ハ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十五條 軍樂手以下ハ本務ノ外平戰兩時共ニ書記ノ助手或ハ傳令等ニ充テ殊ニ戰時ニ在テハ負傷者ノ護送又ハ看護等ヲ爲サシムルモノトス

布達類聚

二百三十八

第二章 樂生召募及取扱ノ定則

第一條 樂生ノ召募ハ左ノ諸條ニ掲クル規則ニ依リ召募スルモノトス

第二條 樂生ハ陸軍諸卒及ヒ華士族平民中志願ノ者ニシテ行狀方正試験合格ノ者ヨリ採用ス

第三條 樂生ハ志願兵トシテ入學ノ日ヨリ常備兵籍ニ編入シ陸軍一定ノ規則ニ依リ服役セシム故ニ其期限中ハ必ス陸軍ニ從事シ決シテ他志ナキノ誓約ヲナサシム

第四條 樂生ノ召募ハ豫シメ陸軍卿ノ許可ヲ得テ其人

員及ヒ檢査格例ヲ定メ團長之ヲ陸軍部内及ヒ府縣ニ
 通牒シ該格例ニ據リ教導團ニ於テ檢査ヲ爲シ召募ス
 ルヲ例トス然レトモ東京外ニ在ル陸軍諸卒ノ志願者
 ハ其所管ニ於テ格例ニ據リ檢査ヲ爲シ左式ノ書面ニ
 本人ノ名簿及ヒ檢査書類ヲ添ヘ教導團ニ送致ス可シ
 但時宜ニ依リ在東京ノ者ノミ召募セシムルヲアル
 ヘ

樂生入學志願人名

隊號(所管)

何卒 姓 名

布達類聚

二百二十九

年號月日生
 年號月何年何ヶ月

合何人

同 同

同

右當臺(局)卒樂生入學志願ニ付名簿寫相添差出候間御
 檢査ノ上入學御差許有之度候也
東京外ニ在テハ名簿寫ノ下ニ
 檢査書類ノ四字ヲ加ヘ御檢査
 ノ上ノ五
 字ヲ省ク

年號月日

所管長官 姓

名 印

教導團長官姓名殿

第五條 華士族平民ヨリ入學志願ノ者ハ左式ノ願書
 履歷書ヲ添ヘ本籍若クハ寄留地府縣廳ノ奥書證印ヲ

受ケ直ニ教導團ニ差出ス可シ

願書式

料紙美濃一紙
以下之ニ同シ

樂生入學願

某儀

陸軍出身志願ニ付今般樂生入學仕度候間御檢査ノ上
御採用被下度固ヨリ入學ノ上ハ御規則嚴重ニ相守誓
テ陸軍ニ從事可仕萬一行狀不正又ハ卒業ノ目的無之
ヨリ退學命セラレ候共決テ違背不仕御定則ノ服役年
限ヲ相終リ可申且又本人身上ノ儀ハ何事ニ依ラヌ身
元引受人ニ於テ引受可仕依テ履歷書相添引受人連署

布達類聚

二百四十

ノ上此段奉願候也

府(縣)何族(平民)職業

戶主名何氏(兄)(弟)(伯)(叔)(甥)(附籍)

國郡(區)町(村)産
國郡(區)町(村)番地住(寄留)

姓 名 印

身元引請人

年號月日生
年號月何年何ヶ月

府(縣)何族(平民)

國郡(區)町(村)番地住(寄留)

姓 名 印

同

年號月日

同

同

教導團長官姓名綴

前書之趣調査候處相違無之候也

府(縣)郡(區)町(村)戸長戸長アラサ
ハ地ハ區長

年號月日

姓

名印

前書之通相違無之候也

年號月日

府(縣)知事(令)

姓

名印

履歷書式

書式ニ示ス外履歷ニ係ル者
アハキハ悉ク記載スヘシ

履歷書

布達類聚

二百四十一

府(縣)何族(平民)職業

戸主名何男(兄)(弟)(伯)(叔)(甥)(附籍)

何年何月種痘(天然痘)

姓名

年號月日生
年號月何年何ヶ月

一何年月日任何官(補何等出仕)(免本官)(出仕被免)(官)省(院)

(廳)府(縣)等

一何年月日何職被申付(何職被免)(官)省(院)(廳)(縣)等

一何年月日ヨリ何年月日迄何學校(塾)入學何科卒業(何學修業)

一何年月日何ニ依リ賞典何々下賜

一何年月日何ニ依リ何罰申付ラル
右之通相違無之候也

年號月日

本人

姓

名印

身元引請人

姓

名印

第六條 學生入學試験ノ定格左ノ如シ

第壹則 年齢 自十五年至二十三年

第貳則 身長 五尺以上

第三則 體質 強壯齒列齊密ノ者

第四則 讀書

布達類聚

第五則 作文

第六則 算術

第七條 前條検査ノ項目ニ合スル者ト雖モ尚ホ若干日間實試ノ上之ヲ採用ス

第八條 検査終ルトキハ團長ハ検査書類ニ就キ優等ノ者ヨリ順次ニ定員ヲ撰拔シ其入學ヲ許ス可キ者ノ姓名及ヒ所屬隊號又ハ族籍ヲ記載シ所管若クハ管轄長ニ照會シテ入學セシム

第九條 樂生ハ定式ノ試験ヲ經テ及第セシムルモノトス

第十條 樂生學術卒業ノ上ハ樂手補ニ命スルモノトス
第十一條 樂生修業中ハ被服食料等總テ官費トシ且ツ
手當金若干ヲ給ス

第拾貳條 樂生修業中ハ如何ナル事故アルモ歸省又ハ
免役ヲ請願スルコトヲ許サス然レモ病患ニテ兵役ニ
堪ヘ難キ者ハ檢査ノ上之ヲ免除ス

第拾三條 樂生修業中行狀不正勤務不勉強或ハ軍紀ヲ
遵守セス又ハ屢法則ヲ犯シ若クハ卒業ノ目途ナキ者
其諸卒ヨリスル者ハ舊所管ニ復シ之ヲ處分セシメ華
士族平民ヨリスル者ハ之ヲ鎮臺歩兵隊ニ送附シ定規

布達類聚

ノ服役年限ヲ帶ハシム但服役計算ノ法諸卒ヨリスル
者ハ入學以前ノ日數ヲ通算シ華士族平民ヨリスル者
ハ入學ノ日ヨリ起算ス可シ

第拾四條 樂生入學ノ時ハ第三條ノ趣旨ニ基キ左ノ如
ク誓文帖ニ署名捺印シ其志操ノ確實ヲ證セシム

誓文帖

今般陸軍出身志願ニ付樂生入學奉願候處御許容相成
候ニ付テハ自今御規則嚴重ニ相守リ誓テ陸軍ニ從事
可仕且御定則ノ服役年間ハ假令ヒ病氣ト雖モ陸軍醫
官ノ診斷ニ依ラズシテ免役ヲ請願致シ候等ノ儀ハ毛

頭仕間敷候依テ誓文如件

年號月日

姓名印

同 同

乙第百三十三號

明治十八年九月廿六日

郡區役所

戶長役場

明治十七年に當縣乙第三十三號達廢止候條此旨相達候事

乙第百三十四號

明治十八年九月廿八日

布達類聚

二百四十四

郡區役所

戶長役場

徵兵令第三十四條乃至第三十六條并第三十九條ノ届ヲ怠ラザル様注意スヘキハ勿論ノ處届出ヲ怠リ同令第四十三條ニ據リ處分ヲ受ル者往々有之憫然之義ニ付今后一層注意ヲ加エ戶主旅行寄留等ノ節ハ親族又ハ近隣之者ヲ代人ト定メ委任狀寫ヲ添戶長役場ニ届置徵兵ニ關スル諸届等必可爲届出此旨相達候事

乙第百三十八號

明治十八年十月二日

郡區役所

戸長役場

正當ノ故ナク徵集ニ應セス若クハ徵集ニ洩レタル者ハ自今年齡滿四十歲迄ハ徵集スヘキ儀ト心得ヘク此旨相達候事

但本文年齡ヲ超過セシ者ハ其時々伺出ヘシ

乙第四百四十二號

明治十八年十月八日

郡區役所

戸長役場

鎮臺及營所ヘノ里程ハ在郷諸兵ニ於テ最モ要用ノ儀ニ付左ノ雛形之通調製シ各町村ノ中央ヘ建設可致此旨相

布達類聚

二百四十五

達候事

但市街并ニ數町村連擔シ一市街同様ノ場所ハ其中央ニ一ヶ所建設スヘシ

木品檜椽ノ類凡八寸角長サ地上七尺

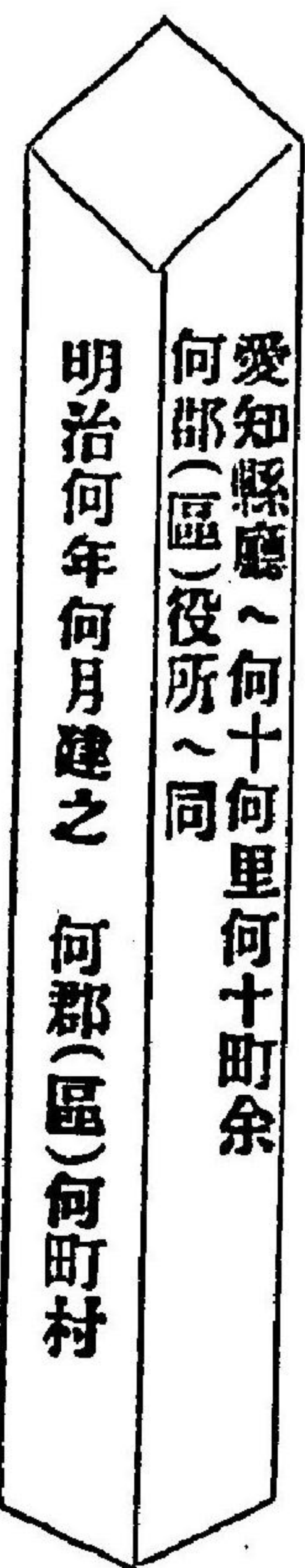
左面

表面



右面

裏面



乙第四百五十一號

明治十八年十月廿四日

郡區役所
戸長役場

本年當縣乙第二百二十二號達第四十三條但書刪除候條此旨相達候事

乙第百六十八號

明治十八年十一月十九日

郡區役所
戸長役場

陸軍獸醫部講習生假規則別紙之通被相定候條此旨相達候事

(別紙)

布達類聚

二百四十六

陸軍獸醫部講習生假規則

第一條 獸醫部講習生ハ陸軍獸醫官ニ出身志願ノ者ヲ撰拔シ病馬廐ニ於テ之ニ要用ナル學術ヲ教授シ卒業ノ上ハ三等獸醫ニ任シ若クハ獸醫試補トナレ其職務ヲ奉セシムルモノナリ

第二條 講習生ハ陸軍部内若クハ華士族平民中獸醫開業免狀若クハ官私立獸醫學校卒業狀ヲ所持スル者ニシテ檢査定格ニ合スル者ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 檢査合格ノ上採用スルハ直ニ本人ニ達シテ入學セシム而シテ陸軍部内ノ者ハ其旨趣ヲ病馬廐ヨリ

各所管ニ通報スヘシ但下士ヨリ入學ノ者ハ病馬廐ニ於テ其本官ヲ免シタル後入學セシムルモノトス

第四條 講習生ハ入學ノ日ヨリ陸軍一定ノ規則ヲ遵奉セシム故ニ入學後ハ決シテ他志ナク陸軍ニ従事スルノ誓約ヲサシム

第五條 講習生修業ノ期限ハ十二ヶ月トス然レモ疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニ因リ豫定ノ學術ヲ修得シ能ハサル者若クハ試験ノ上學業未熟ト認定スル者ハ若干月ヲ延期スルコトアルヘシ

第六條 講習生修學中ハ情願ヲ以テ歸省又ハ退學スル

布類達聚

コトヲ許サス然レモ病氣若クハ行狀不正又ハ法則ヲ犯シ或ハ怠惰ニシテ卒業ノ目途ナキモノハ退學セシムヘシ但下士卒ヨリ入學ノ者ハ更ニ下士若クハ卒トナシ舊所管ニ復シ定期ノ年限前役及生徒修學中ノ日數ヲ通算スヲ服役セシメ又華士族平民ヨリ入學ノ者ニシテ行狀不正或ハ怠惰等ニ依リ退學セシムル者ハ入學中ノ費用ヲ直チニ上納セシムルモノトス

第七條 講習生ハ官費生ト自費生トノ二種トス其官費生ハ修學ノ費用及居室衣食ノ料トシ若干ノ手當金ヲ給シ其自費生ハ修學上ノ器械物品ヲ除ク外一切ノ費

用總テ自辨タルヘン但修學五ヶ月ノ後學術進步ノ成績ニヨリ官費生トナスコアリ

第八條 講習生ハ私宿ニ在テ日々病馬廐ニ通學シ陸軍獸醫ノ學術及其他ノ事ヲ研究セシム但シ時宜ニヨリ獸醫官ノ助手タラシムルコトアルヘン

第九條 講習生ハ學期ノ終リニ於テ試験ヲ行ヒ及第スル者ハ之ヲ優等及通常ノ二種ニ區別シ各卒業證ヲ授與ス

第十條 講習生ハ試験ヲ受クルノ後優等卒業證ヲ得タル者ハ三等獸醫ニ任シ通常卒業證ヲ得タル者ハ獸醫

布達類聚

二百四十八

試補トナスヲ例トス但優等卒業證ヲ得タル者ト雖モ修學中懲罰ノ所斷ヲ受ケン者等ハ獸醫試補トナスコトアルヘン

第十一條 講習生ノ召募ハ陸軍卿之ヲ陸軍部内及府縣ニ達シ其檢査ハ檢査格例ニ準據シ病馬廐ニ於テ之ヲ爲スヲ例トス故ニ病馬廐長ハ所要ノ人員並ニ召募ノ時期等ヲ豫メ陸軍卿ニ上申スヘン但時宜ニヨリ在東京ノ者ノミヲ召募セシムルコトアルヘン

第十二條 講習生召募ノ達アレハ陸軍部内ニ在テハ近衛鎮臺又ハ各官廨ニ於テ其志願者ヲ取調ヘ左式ノ書

面ニ本人ノ名簿寫並ニ獸醫開業免狀若クハ官私立獸
醫學校卒業證寫ヲ添へ病馬廐ニ送付シ各府縣ニ在テ
ハ之ヲ管下ニ達シ志願者ヲレテ第十三條ノ手續ヲナ
サシムヘシ

獸醫部講習生入學志願人名

隊號(所管)

官 姓 名

年號月日生
年號月何年何ヶ月

同

何兵卒姓名

布達類聚

二百四十九

同同

右獸醫部講習生入學志願ニ付名簿寫並ニ獸醫開業免狀
(獸醫學卒業證)寫相添差出候間御檢査ノ上入學御差許有
之度候也

年號月日

所管長

官 姓 名 印

病馬廐長官姓名殿

第十三條 華士族平民ヨリ獸醫部講習生志願ノ者ハ左
式ノ願書ニ履歷書及獸醫開業免狀若クハ官私立獸醫
學校卒業證寫ヲ添へ本籍若クハ寄留地府縣ノ奥書證
印ヲ受ケ直ニ病馬廐ニ差出スヘシ

願書式

用紙美濃白紙以下
履歷書之ニ同シ

獸醫部講習生入學願

陸軍出身志願ニ付此度獸醫部講習生入學(自費入學)奉願
候間御検査ノ上御採用被下度別紙履歷書並ニ獸醫開業
免狀(獸醫學卒業證)寫相添此段奉願候也

府(縣)何族(平民)

戶主名何男(兄)(弟)(伯)(叔)(甥)(附籍)

何國何郡(區)何町(村)産
何國何郡(區)何町(村)何番地住(寄留)

姓 名 印

年號月日生
年號月何年何箇月

身元引受人

布達類聚

二百五十

府(縣)何族(平民)

東京府下何郡(區)何町(村)何番地住(寄留)

姓 名 印

同

同

年號月日

同

病馬廐長官姓名殿

前書之通調査候處相違無之候也

府(縣)何郡(區)何町(村)戶長戶長アヲサ
ル地ハ區長

姓 名 印

前書之通相違無之候也

府〔縣〕知事〔令〕 姓 名 印

履歷書式

書式ニ示ス外履歷ニ係ル者
アハトキハ悉ク記載スヘシ

履歷書

府〔縣〕何族〔平民〕職業

戶主名何男〔兄〕〔弟〕〔伯〕〔叔〕〔甥〕〔附籍〕

姓 名 印

年號月日生
年號月何年何箇月

一 祖父母 何某存〔亡〕

一 父母〔養父母〕 同 同

布達類聚

二百五十一

此他兄弟姉妹等在籍ノ者ハ皆之ニ準シテ記載スヘシ

一 何年月日ヨリ何年月日マテ何學校〔何塾〕ニ入り教師

某ニ就テ何學修業

一 何年月日ヨリ何年月日マテ何學研究ノ爲メ何國外國ニ

在留

一 何年月日何學校〔何塾〕ニ於テ何學卒業何年月日右證ヲ

受ク

一 何年月日農商務省第何號獸醫開業免狀ヲ受ク

一 何年月日任何官〔補何等出仕〕〔免本官〕〔出仕被免〕〔何府〔縣〕
省〕等

一何年月日何職被申付月給何圓(何職被免)(何省(府)(縣)等)
 一何年月日何ニ依テ賞典何々下賜ル
 一何年月日何ノ科ニ依リ何罰被申付
 右之通相違無之候也

本人姓名 印
 右身元引受人 印

年號月日 同 姓名 印

前書之通相違之無候也

府(縣)何郡(區)何町(村)戸長戸長アツテ地ハ區長

布達類聚

二百五十二

姓名 印

第十四條 陸軍部内ノ者及華士族平民共検査ノ定格左
 ノ如シ

第一則 年齢三十五年以下ノ者 第二則 體格 第
 三則 學科

第十五條 華士族平民ヨリスル者検査合格ノ上入學ヲ
 命スル者ハ父兄親族其他一家ヲナス身元東京居住ノ者ニ限ル體ナル者ニ
 自費ノ者ハ第二號ノ入學證書ヲ差出サレム

第一號證書式 用紙美濃白紙 證券印紙 貼用第二號證書之ニ同シ